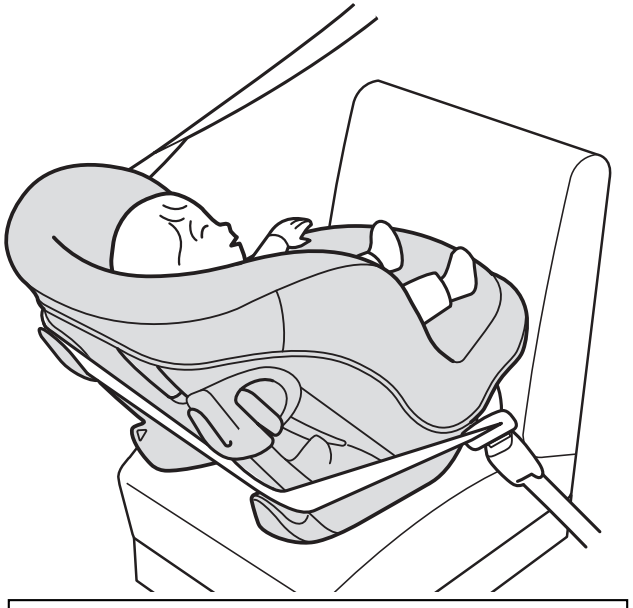
Combi

汎用型　質量グループ 0.1
体　重　～ 18kg 以下の乳幼児用

コンビ　チャイルドシート
コッコロ EG/コッコロ S

取扱説明書（品質保証書付）

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、記載された内容に従い正しくご使用ください。
- 50ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。
- **本書はシートカバー側面ポケットに保管してください。（5ページ参照）**



危険　体重 9kg 未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。

当説明書は本体と合わせてご返却下さい。

Nice Baby（ナイスベビー）
株式会社ベビーリース
〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田 158
TEL 047-392-1234

お使いいただく前に
車に取り付ける前に
車への取り付け
お手入れ

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に…… 1
各部のなまえ…… 3
使用条件…… 7
シートベルトの種類と使用上の注意 …… 9
取り付けできない座席…… 11
安全にお使いいただくために…… 13

車に取り付ける前に

インナークッションの使いかた…… 21
お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた… 23
お子さまの座らせかた…… 27
いらっしゃいベルトの使いかた（EGのみ）… 30

車への取り付け

車への取り付け…… 31
取り付け準備…… 32
後向き取り付け…… 33
後向き取り付け完了チェックのしかた … 40
前向き取り付け…… 41
前向き取り付け完了チェックのしかた … 44

お手入れ

シートカバーのはずしかた・
取り付けかた…… 45
洗いかた…… 47
保管・廃棄のしかた…… 48
製品仕様…… 49
品質保証書…… 50
角度チェッカー……裏表紙

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。
本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、
製品とは若干異なる場合があります。

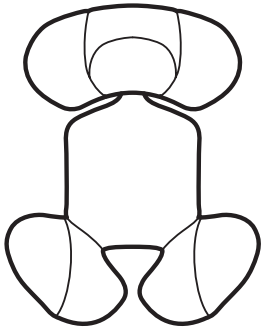
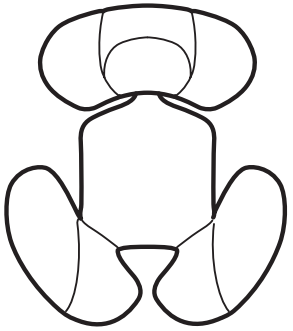
●ご使用前に、本書50ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
①ロットNo.（本体背面に貼ってあるシールに記載されています）
②お客様のお名前・ご住所・電話番号
③販売店名

●領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。

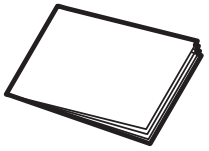
梱包内容

●本体

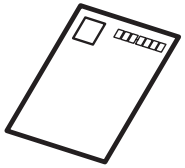
●インナークッション

EG タイプ	S タイプ
	

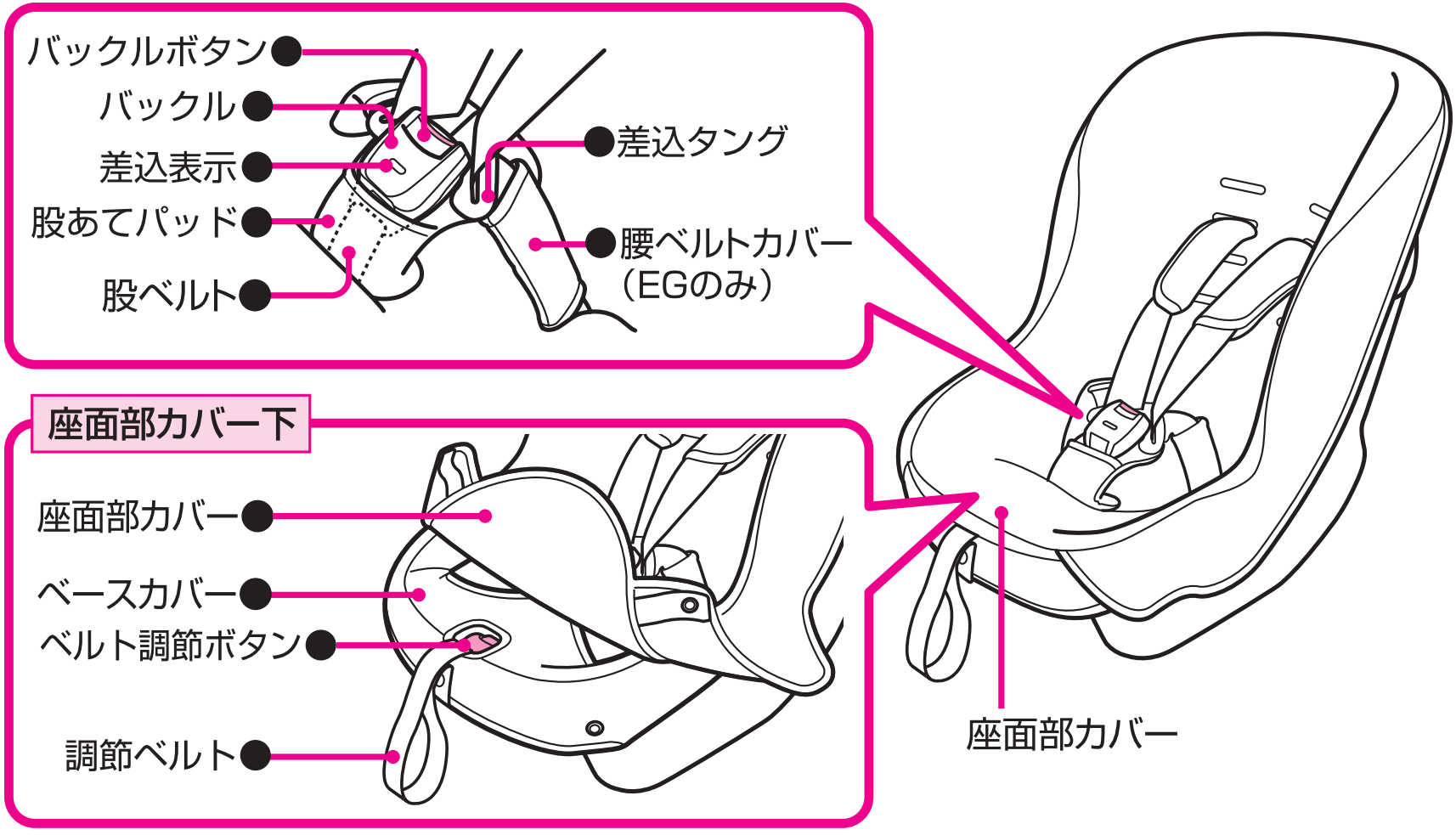
●取扱説明書



●お客様
登録カード

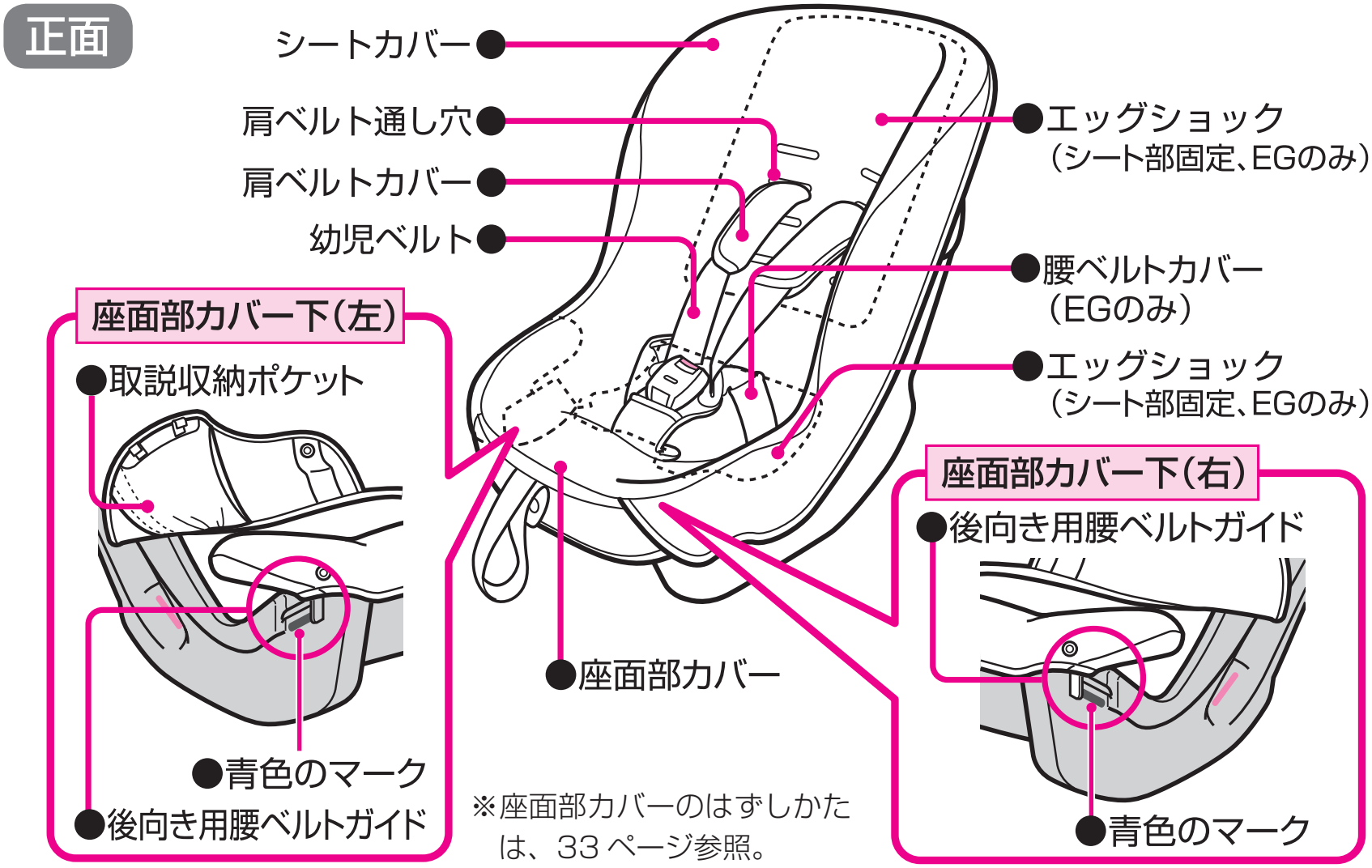


正面



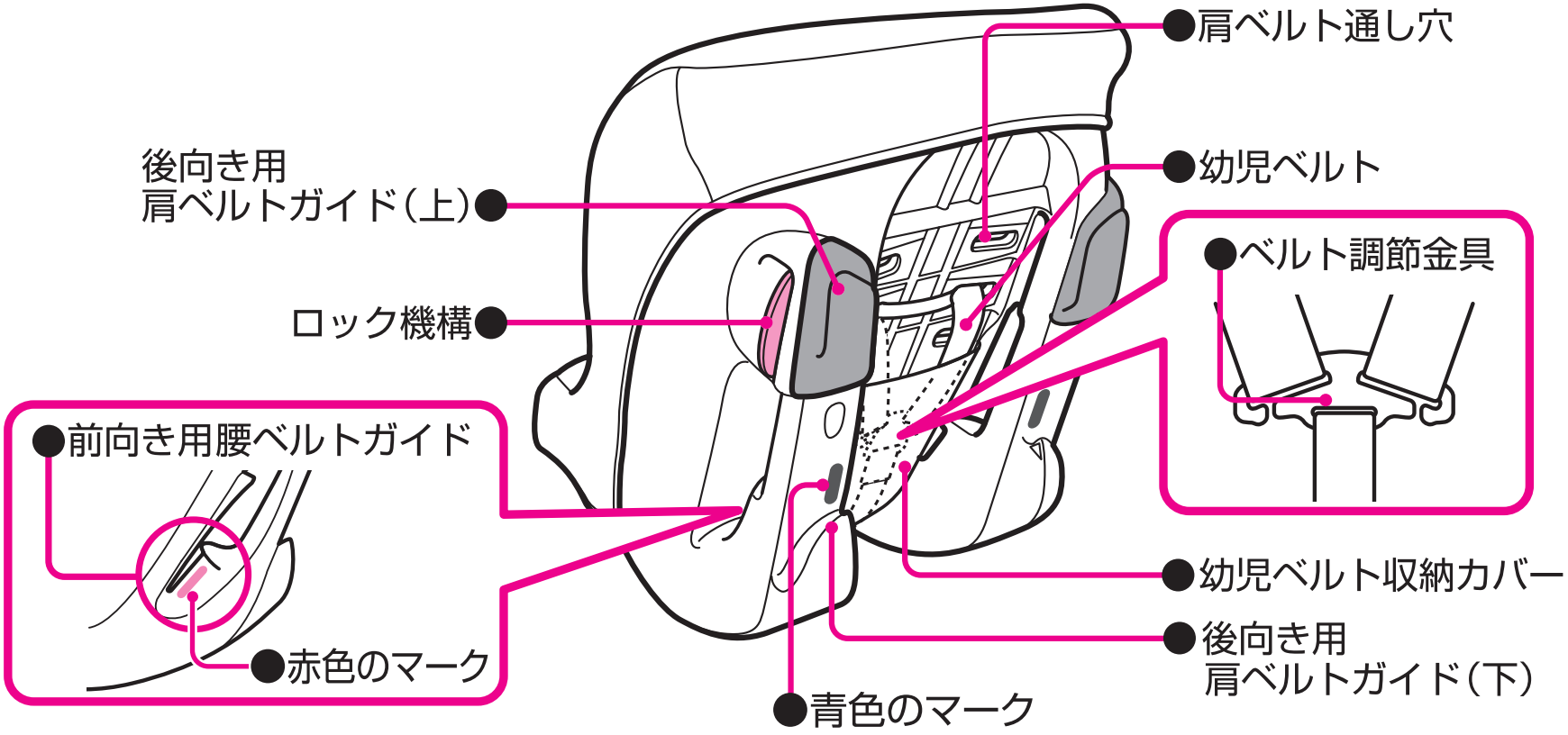
※座面部カバーのはずしかたは、33 ページ参照。

各部のなまえ



※座面部カバーのはずしかたは、33 ページ参照。

背面


肩ベルト通し穴
幼児ベルト
後向き用
肩ベルトガイド（上）
ベルト調節金具
ロック機構
前向き用腰ベルトガイド
赤色のマーク
幼児ベルト収納カバー
後向き用
肩ベルトガイド（下）
青色のマーク

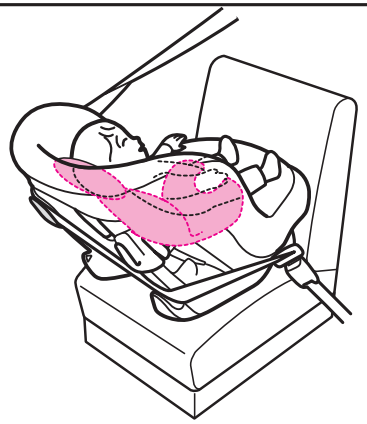
使用条件

ここでは、お子さまの体重による取り付けの向き、インナークッションの使いかたを説明しています。お子さまの体重に合わせて正しくお使いください。

お子さまの体重に合わせて、3 段階の使いかたをします。

1 体重 7kg 未満の場合

身長の目安：～ 60cm 程度
年齢の目安：
新生児～ 4 ヵ月ころ(首がすわるころ)
※新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上。



その他の条件	使いかた
●後頭部がインナークッションから出ないこと	●進行方向に対して後向き ●インナークッションを必ず使用する

⚠注意 長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1 時間程度を目安に休憩をとるなどしてください。

2 体重 7kg 以上～10kg 未満までの場合

身長の目安：
60cm～75cm程度
年齢の目安：
4 ヵ月(首がすわるころ)～1才ころ

その他の条件

⚠危険
- 体重9kg未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。
- 「身長の目安」や「年齢の目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満たして

使いかた

●進行方向に対して後向き
●インナークッションは使用禁止

3 体重 9kg 以上～ 18kg 以下までの場合

身長の目安：75cm ～ 105cm 程度
年齢の目安：1 才～ 4 才ころ

その他の条件

●後頭部がチャイルドシートの背もたれから上に出ないこと

使いかた

●進行方向に対して前向き
●インナークッションは使用禁止

いても、「体重条件」を満たしていないお子さまはお使いになれません。

シートベルトの種類と使用上の注意

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。
本製品は UN/ECE 規則 No.16 または、他の同等の基準に基づいて認可された 3 点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

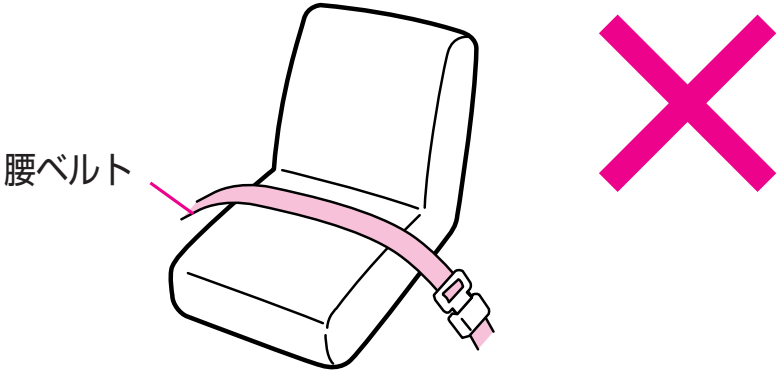
※日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。
http://www.combibaby.com

※取り付ける車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。

⚠危険
- 必ず３点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- ２点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

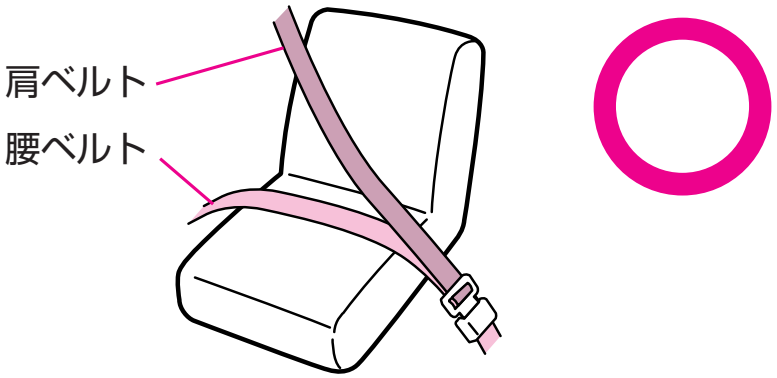
2 点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右 2 点で体を支えるシートベルトのこと。



3 点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの 3 点で体を支えるシートベルトのこと。



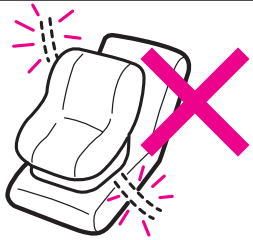
シートベルトの種類と特徴（見分け方）		後向き取り付け注意点	前向き取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。本製品のロック機構により固定してください。
AELR	ベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。（ベルトを全て巻き戻すと解除される）	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。	シートベルトを全て引き出し、チャイルドシート固定機能をきかせた状態で、本製品のロック機構により固定してください。
NR	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	チャイルドシートに合わせてベルトの長さを調節し、固定してください。	チャイルドシートに合わせてベルトの長さを調節し、本製品のロック機構により固定してください。
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。	**使用できません。**	

＊シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

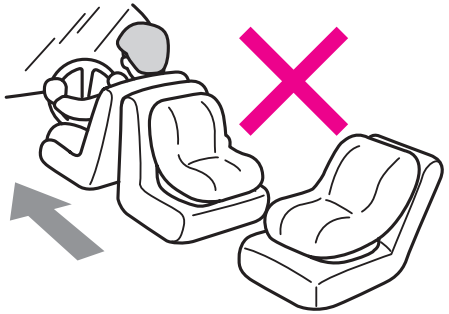
取り付けできない座席

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかり固定できない場合には使用しないでください。

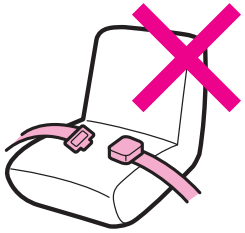
●シートベルトの付いていない座席。



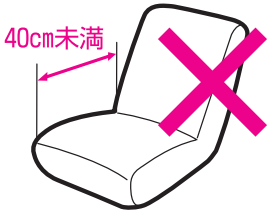
●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



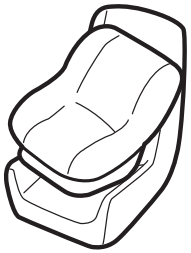
●２点式シートベルトの座席。



●座面の奥行きが40cm未満の座席。



●極端なバケットシート。
…座面の中央が深くへこんでいる座席。



次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

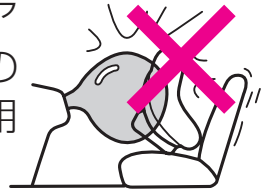
●パッシブシートベルトの付いた座席。

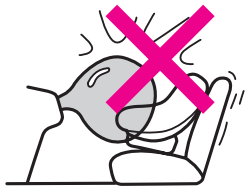
※パッシブシートベルトとは

…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。（オートマチックシートベルト）

●エアバッグ装備の座席。

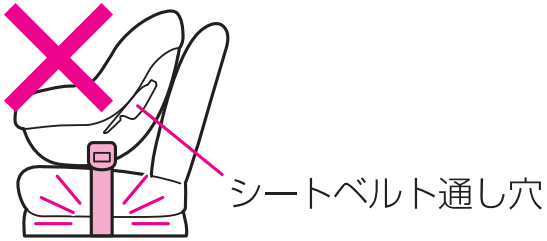
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



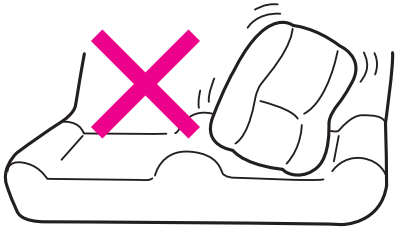


●シートベルトが座席の中間から出ている座席。

…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。

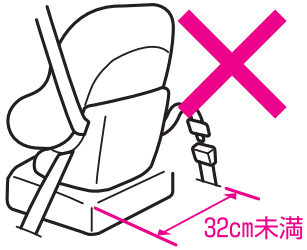


●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

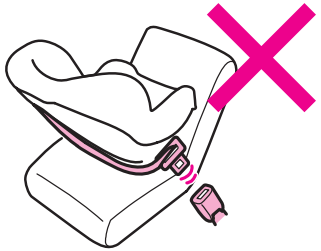


●シートベルトの取り付け幅※が32cm未満の座席。

※シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。



●シートベルトの長さが極端に短い座席。

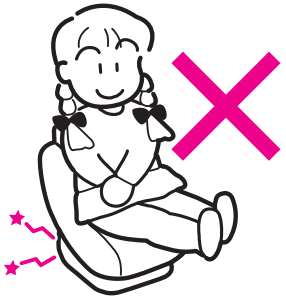


安全にお使いいただくために

⚠危険

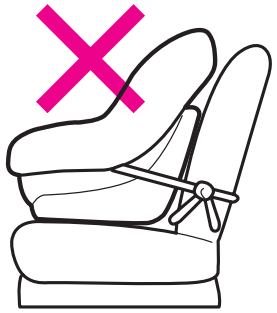
次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。

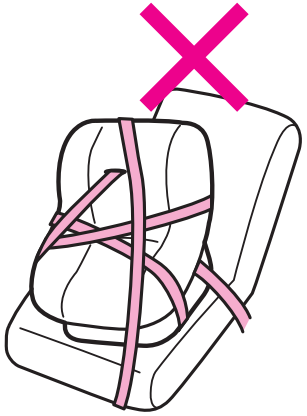


●お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。
座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。

●車に取り付けるときは、必ず車両シートベルトで固定してください。
ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。

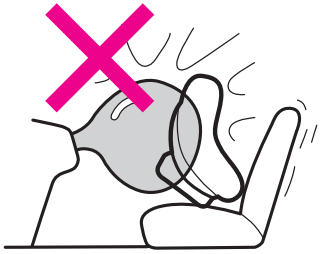


●車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。
誤った部分を通して取り付けないでください。



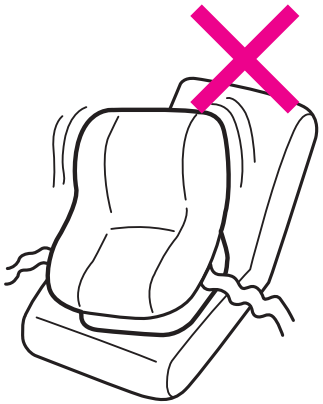
⚠危険

●エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



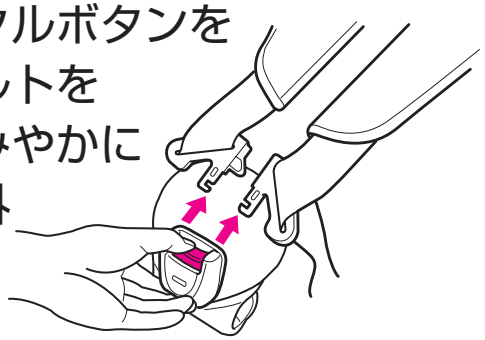
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●車両シートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにチャイルドシートをしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。



⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

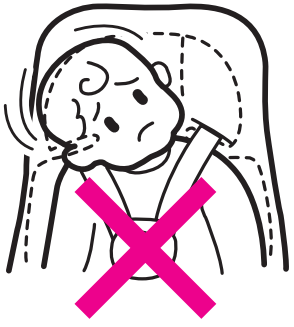


⚠警告

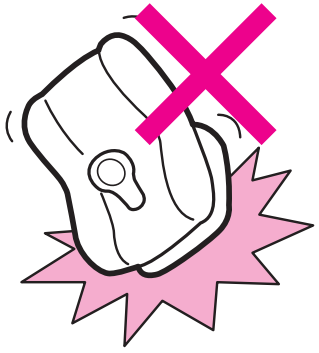
次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
※幼児ベルトは正しい長さに調節してください。(27ページ参照)

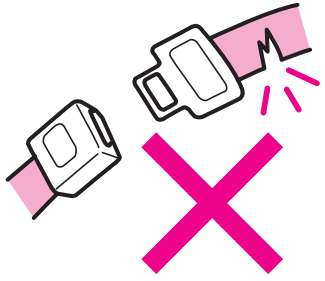
●7kg未満の小さなお子さまを乗せる場合には、必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。(21ページ参照)



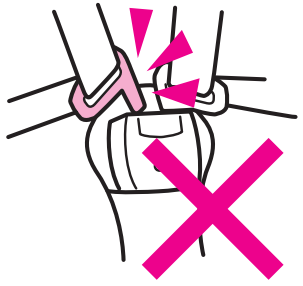
●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



●車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。



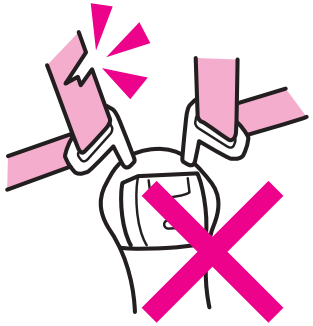
●バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



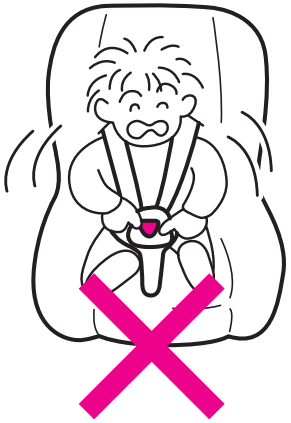
つづく

⚠警告

●幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



●お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。
はずれていると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



●チャイルドシートにお子さまが乗った状態で運ばないでください。

⚠警告

次のような使いかたは、お子さまや同乗している方に危険をまねくおそれがあります。

●お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。

●助手席に、チャイルドシートを後向きに取り付け、ドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。

●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。

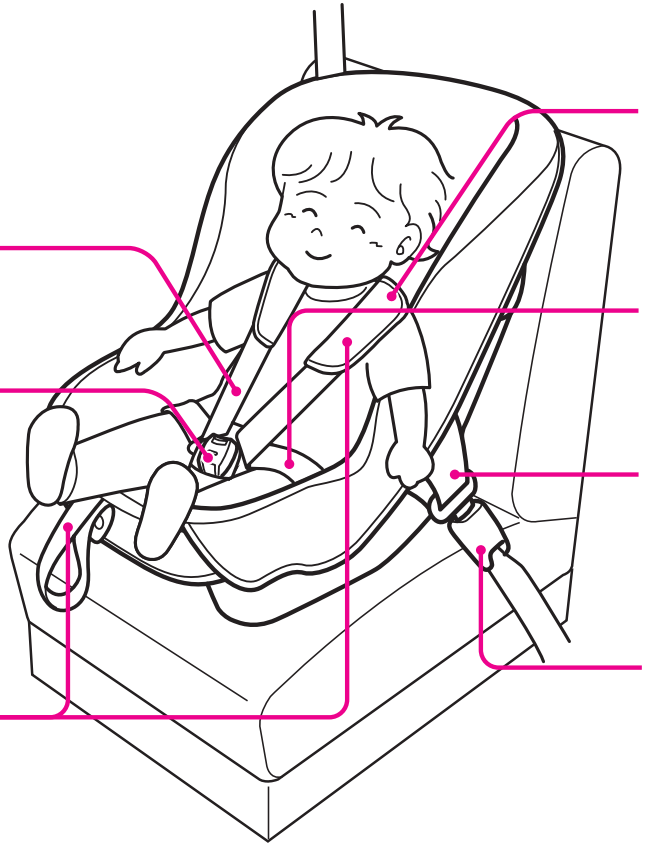
●２ドアや３ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

●お子さまを車内に１人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。

つづく

⚠日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



幼児ベルトにねじれやたるみがないこと

差込タングがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が緑色に変わっていること

幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること（調節ベルトを引いてフィットさせてください）

幼児ベルトが肩ベルト通し穴の正しい位置にセットされていること

お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げること。

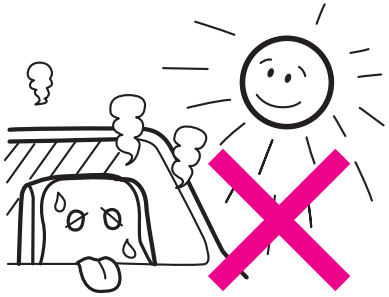
車両シートベルトにゆるみ、たるみがないこと

車両シートベルトの差込金具がしっかりとバックルに差し込まれていること

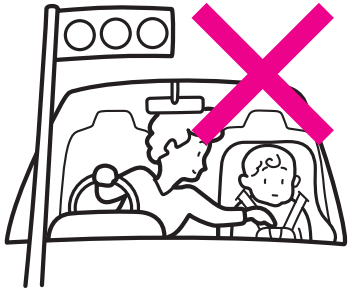
※イラストは前向き使用例

⚠注意

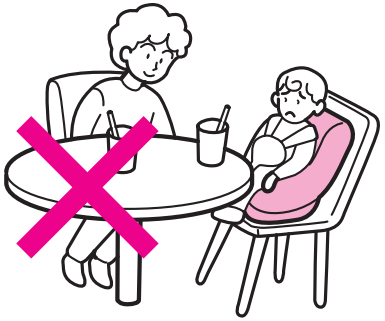
●直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを乗せる前に各部をさわり、熱くないことを確認してから使用してください。



●走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

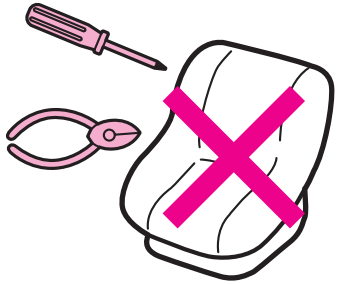


●チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してけがをするおそれがあります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



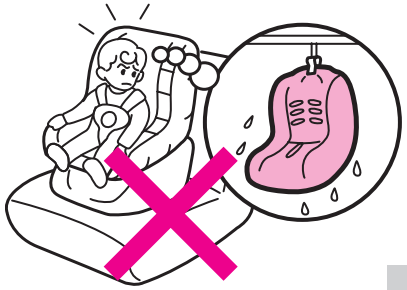
●チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

●チャイルドシートを改造しないでください。また、本書に記載されていない使いかたをしないでください。

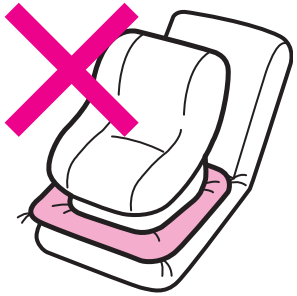


⚠注意

●シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）



●車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。



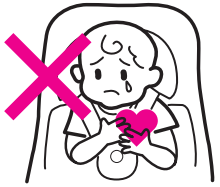
●座席の表皮素材（革など）および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビ ズレ防止･保護シート」の使用をおすすめいたします。

●チャイルドシートを風雨にさらさないでください。

●固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。

いらっしゃいベルト（EGのみ）には、磁石を使用しています。次のことにご注意ください。

●ペースメーカーを装着しているお子さま、保護者のかたは、本製品を使用しないでください。
磁石に接近すると誤作動をまねくおそれがあります。



●磁気による損傷を受けやすいものは、近づけないでください。
（磁気カード、腕時計、電子機器など）

●磁石部に異物がついていないことを確認してからご使用ください。
誤飲のおそれがあります。

インナークッションの使いかた（7kg 未満のお子さまには）

インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのものです。お子さまの体重が7kg未満の場合には、インナークッションをお使いください。（工場出荷時、インナークッションは取り付けられています）また、7kg以上になりましたら必ず取りはずしてください。

警告

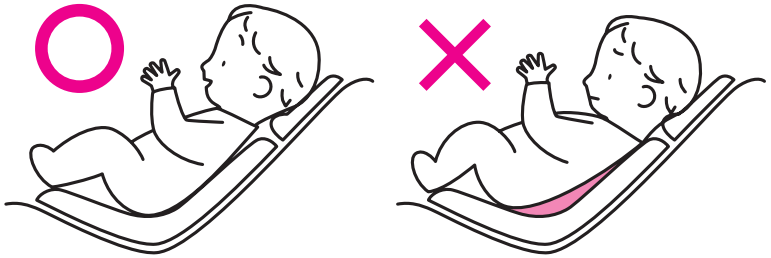
●インナークッションが使用できるのはお子さまの体重が7kg未満までです。7kg以上で使用すると、本来の機能を果たさず危険です。

注意

●チャイルドシートを持ち運ぶときには、インナークッションを持たないでください。

お子さまを座らせるときは

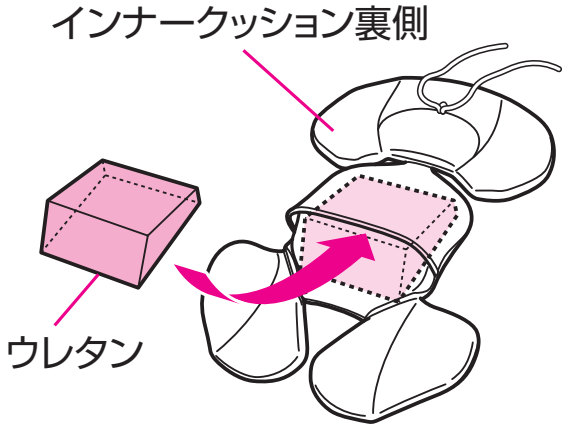
●インナークッションに合わせて、お子さまを深く座らせてください。



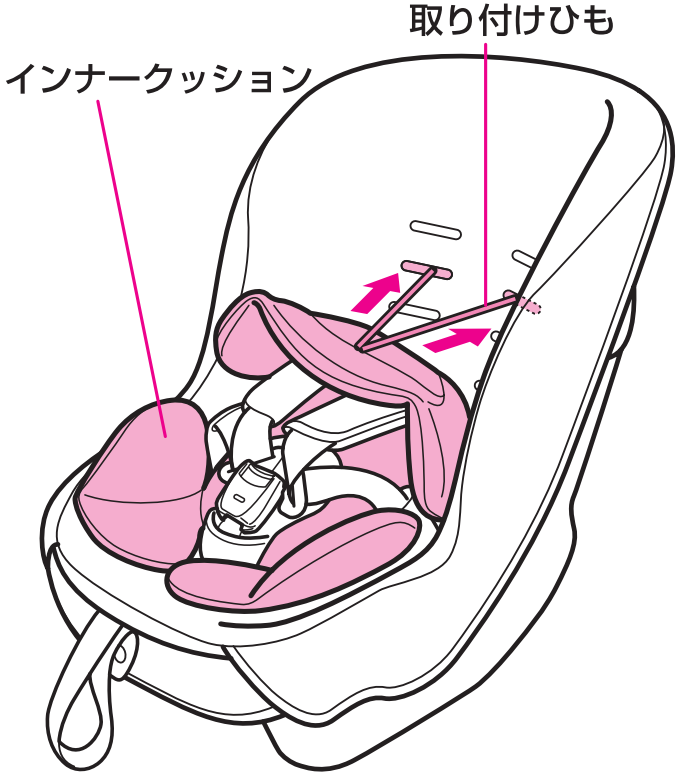
インナークッションのウレタンについて

インナークッション用ウレタンの使いかた

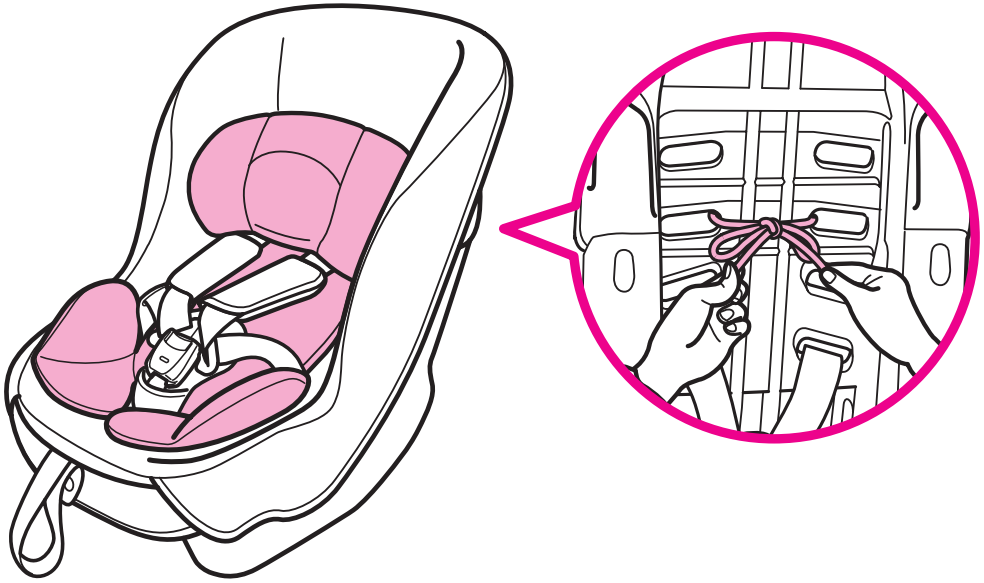
インナークッション中のウレタンは、インナークッション裏側から出し入れします。
入れるときは、広い面を表側にして、お子さまの背中にあたるようにしてください。
また、ウレタンの上下の向きにも注意してください。



1 インナークッションをのせ、取り付けひもを上から２段目の肩ベルト通し穴に通す。



2 取り付けひもを本体背面でむすぶ。



ワンポイント

●体重が 7kg 未満のお子さまでも、体格によってはインナークッションにより幼児ベルトが窮屈になる場合があります。
幼児ベルトの調節（27 ページ参照）を行っても窮屈になる場合は、インナークッションの中に入っているウレタンを取りはずしてお使いください。

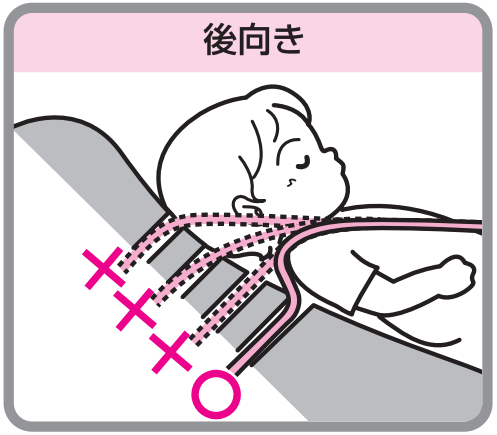
お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた

肩ベルト通し穴の位置は、後向きと前向きで選ぶ位置が異なります。取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。

肩ベルト通し穴の位置

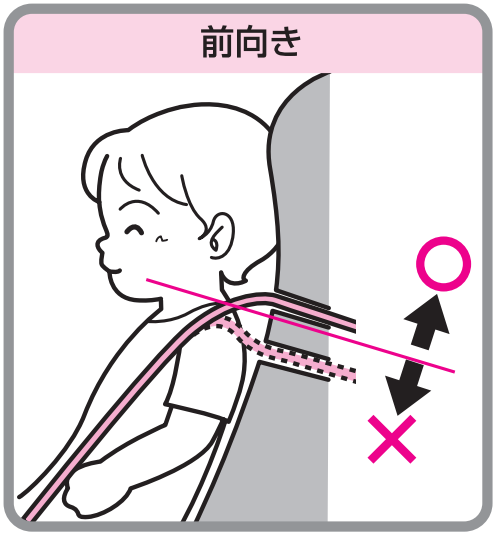
●後向き取り付け時

必ず、最下段の肩ベルト通し穴を使用する。



●前向き取り付け時

肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用する。



ワンポイント

●股ベルトの長さや位置は調節できません。
肩ベルトの長さを調節してください。

肩ベルト通し穴の位置を調節する

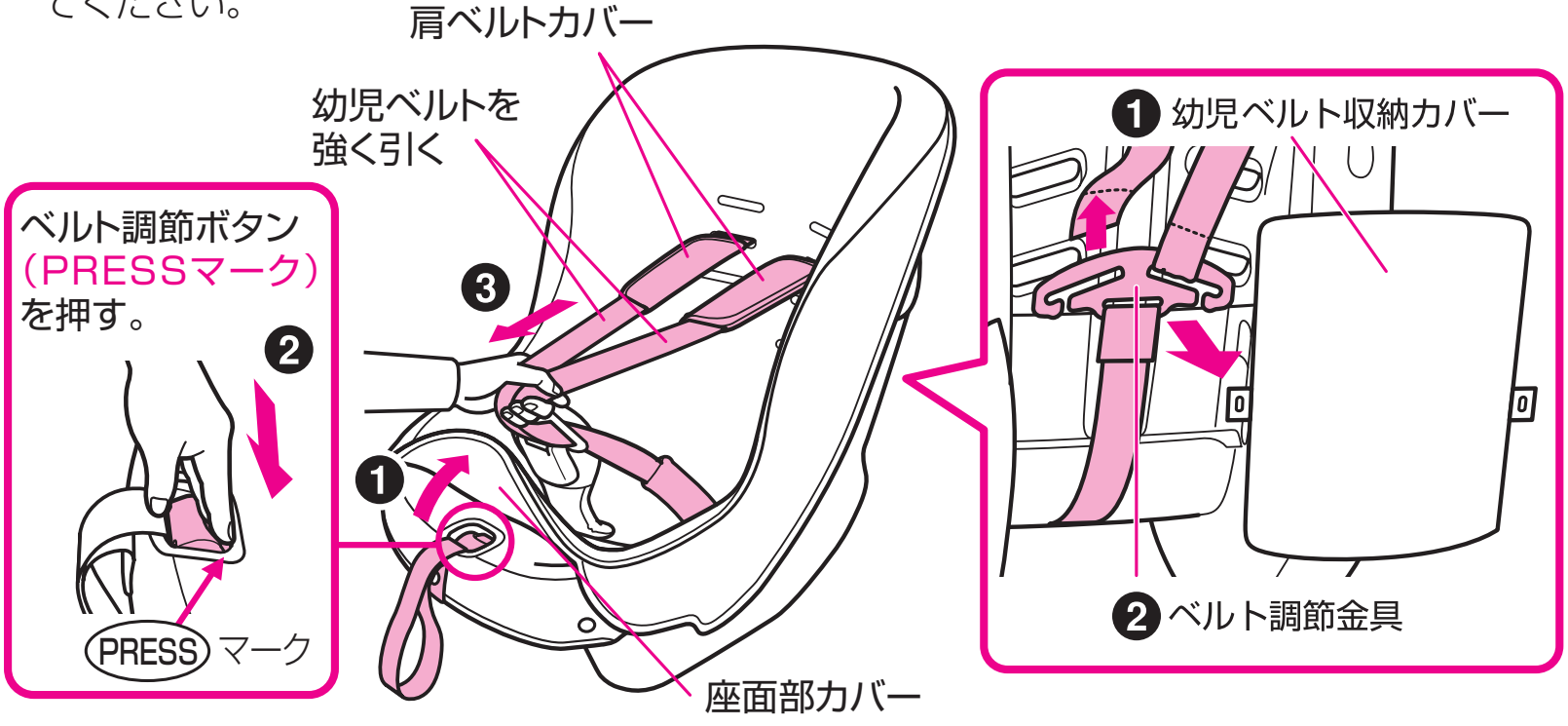
1 あらかじめ、お子さまをチャイルドシートに座らせ、正しい肩ベルト通し穴の位置を確認する。
（本ページ「肩ベルト通し穴の位置」参照）

⚠警告

- ●肩ベルト通し穴位置は、取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。
- ●肩ベルト通し穴は、左右同じ高さの穴を使用してください。
- ●チャイルドシートが不安定な状態でお子さまを座らせると、転倒のおそれがあります。お部屋などで確認されるときは、ご注意ください。

2 ❶座面部カバーをめくり、
❷ベルト調節ボタン（オレンジ色）の奥側の『PRESS』マーク（刻印）を押しながら、
❸左右の幼児ベルトの両方を持ち手前に引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

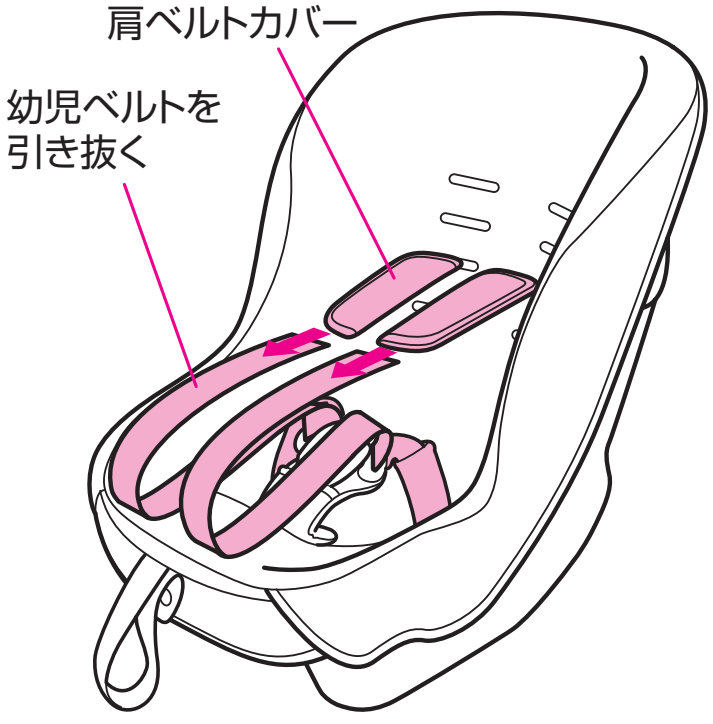
3 ❶本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずす。
❷ベルト調節金具から幼児ベルトをはずす。



お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた

4 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。

※肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

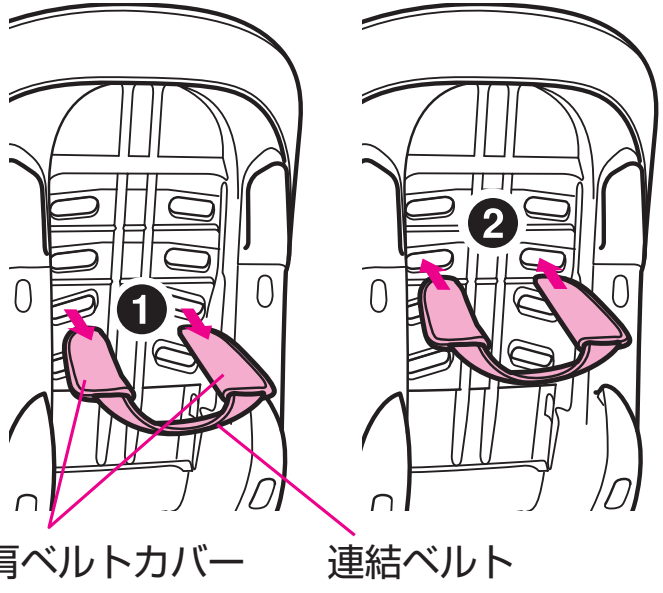


5 **肩ベルトカバーの位置を変える。**

❶ 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。

※左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面で繋がっています。

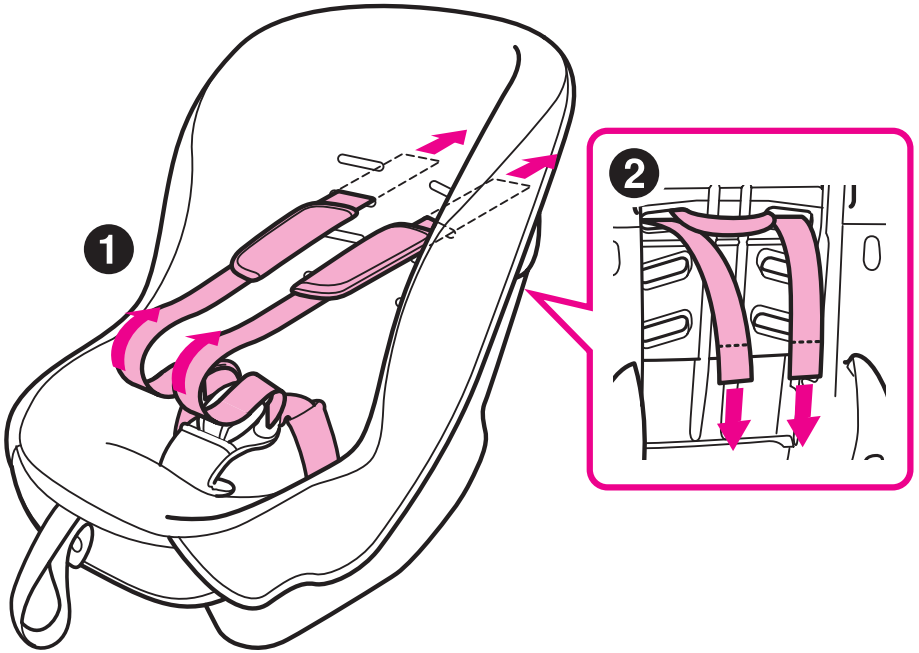
❷ 肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。



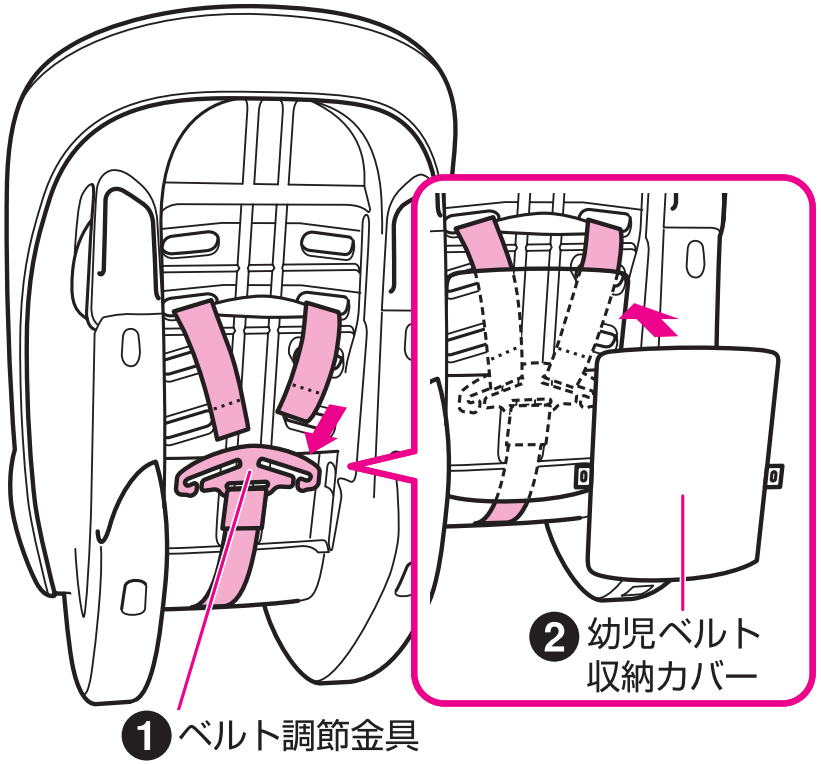
ワンポイント

●肩ベルトカバーがうまく引き抜けないときは、本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの先端を押し込みながら、本体背面より引き抜いてください。

6 ❶ 肩ベルトカバーに幼児ベルトをねじれないように注意しながら通す。
❷ 本体背面に引き出す。



7 ❶ 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付け、
❷ 幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。

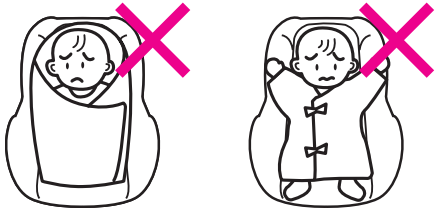


お子さまの座らせかた

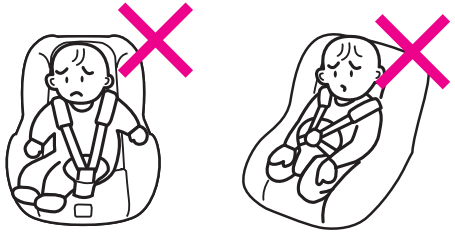
あらかじめ、使用するベルト通し穴の位置をお子さまの体に合わせてください。（23～26ページ参照）

⚠警告

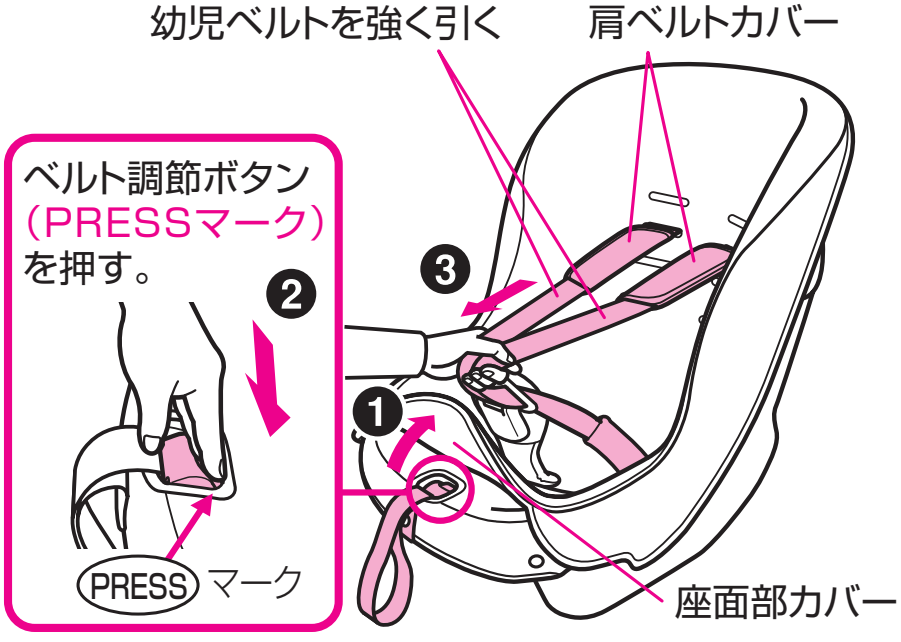
●おくるみなど、両足が分かれない衣類の着用はおやめください。



●お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
●かさばったベビーウェアを着せたまま、座らせないでください。
●お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。
チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



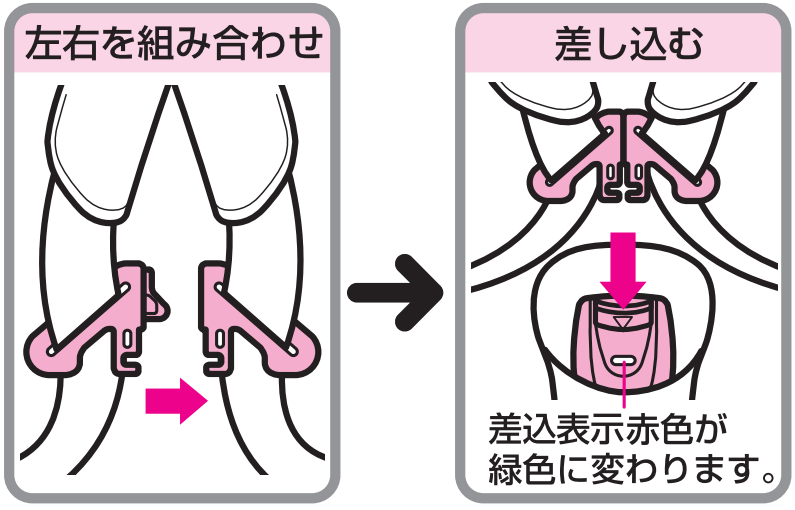
1 ❶座面部カバーをめくり、
❷ベルト調節ボタン（オレンジ色）の奥側の『PRESS』マーク（刻印）を押しながら、
❸左右の幼児ベルトの両方を持ち手前に引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。



2 ❶バックルボタンを押して、差込タングを抜き、
❷お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。

ワンポイント
●後向き使用時は、車の室内側からお子さまを乗せ降ろしすると、車両シートベルトがじゃまになりません。

3 左右の差込タングを組み合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込む。



ワンポイント
●バックルのボタンは、お子さまの力ではずれないように固くしてあります。

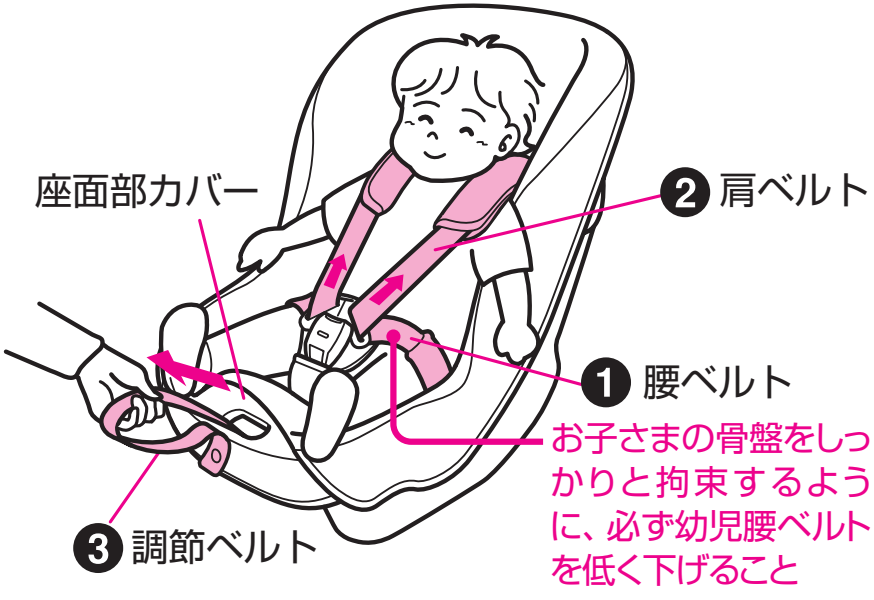
警告
●左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

4 幼児ベルトを短く調節する。

❶ 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。

❷ 肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。

❸ 座面部カバー下の調節ベルトの上側を手前に引き、左右の幼児ベルトをお子さまの体にフィットさせる。



ワンポイント

●お子さまが窮屈でないように、また幼児ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。

●お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入るくらいが適切です。きつかったり、ゆるかったりするときには、幼児ベルトの長さを調節してください。

警告

●必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。

●幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻きつき窒息するおそれがあります。

いらっしゃいベルトの使いかた（EG のみ）

いらっしゃいベルトはお子さまの乗せ降ろしをスムーズに行うための補助機能です。
腰ベルトカバーにある磁石で、幼児ベルトをシートカバー左右の隅に固定しておくことができます。

⚠注意

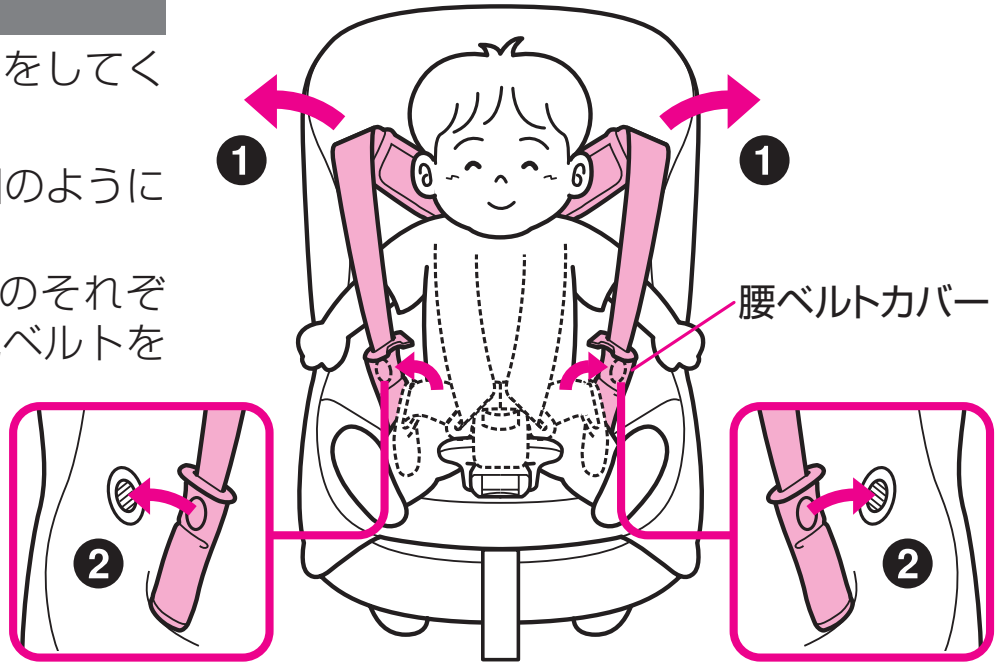
いらっしゃいベルトには、磁石を使用しています。次のことにご注意ください。
- ペースメーカーを装着しているお子さま、保護者のかたは、本製品を使用しないでください。磁石に接近すると誤作動をまねくおそれがあります。
- 磁気による損傷を受けやすいものは、近づけないでください。（磁気カード、腕時計、電子機器など）
- 磁石部に異物がついていないことを確認してからご使用ください。誤飲のおそれがあります。

お子さまを降ろすときは

お子さまを降ろすときは、次の使いかたをしてください。

❶ バックルからはずした幼児ベルトを図のように大きく開いて、お子さまの腕を出す。

❷ 腰ベルトカバーとシートカバー内側のそれぞれの磁石マーク（○）を合わせて、幼児ベルトを固定する。



ワンポイント

- 腰ベルトカバーとシートカバー内側の○マーク部分に磁石が入っています。2 つのマークを合わせるようにするとくっつきます。

車への取り付け

ここでは、取り付け上の注意、後向きの取り付けかた、前向きの取り付けかたを説明しています。
※車の座席形状などにより、取り付けできない場合があります。（11～12ページ参照）

⚠危険

- チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
  ※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

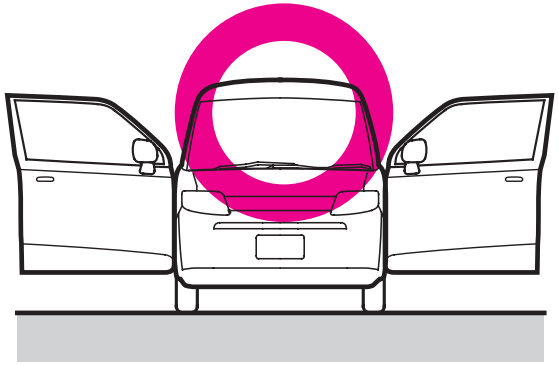
⚠警告

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- 助手席にチャイルドシートを後向きに取り付けて使用する場合、ドアミラーが見えにくい場合は後座席に取り付けてください。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。
- ２ドアや３ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

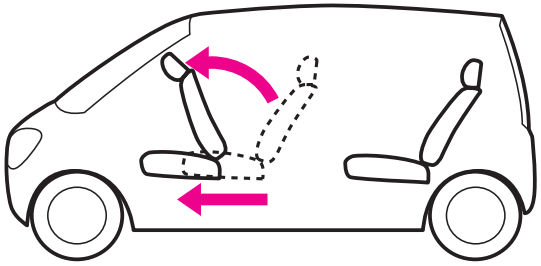
取り付け準備

取り付け作業の前に

1 取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行なってください。

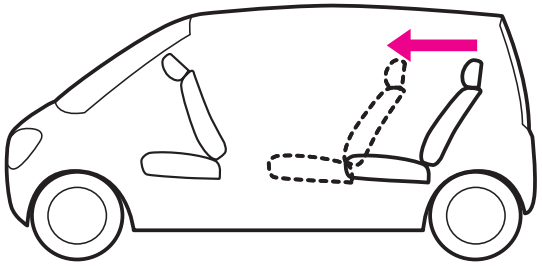


2 車内の作業スペースを確保するため、前座席をたおしたり、スライドさせてから取り付けてください。



取り付け座席のスライド機能について

取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。



後向き取り付け（体重 10kg 未満のお子さま）

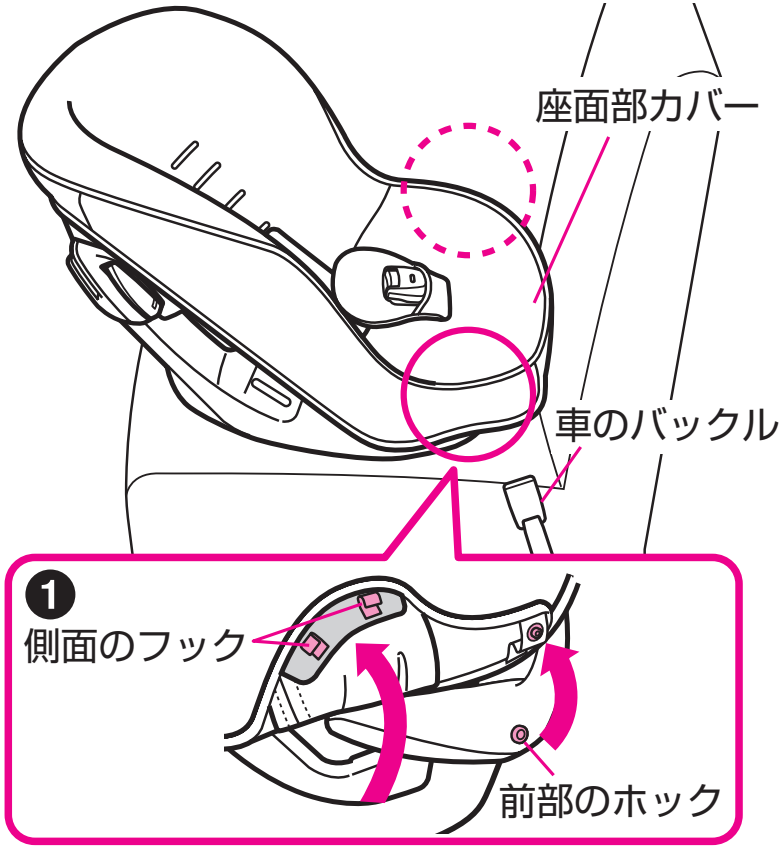
後向き取り付けの場合、座面部カバーを大きくめくり、車両シートベルトを取り付けます。

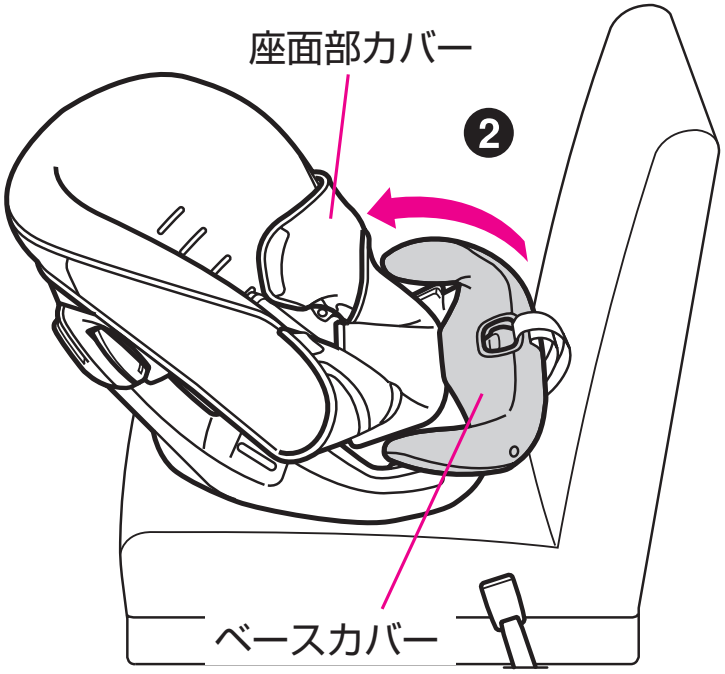
※インナークッションを取りはずしてから、車への取り付けをします。（21 ページ参照）

1 **本体を車の座席に後向きに置き、**

❶ シートカバー左右の前部のホックと側面のフックをはずす。

❷ 座面部カバーを大きくめくる。





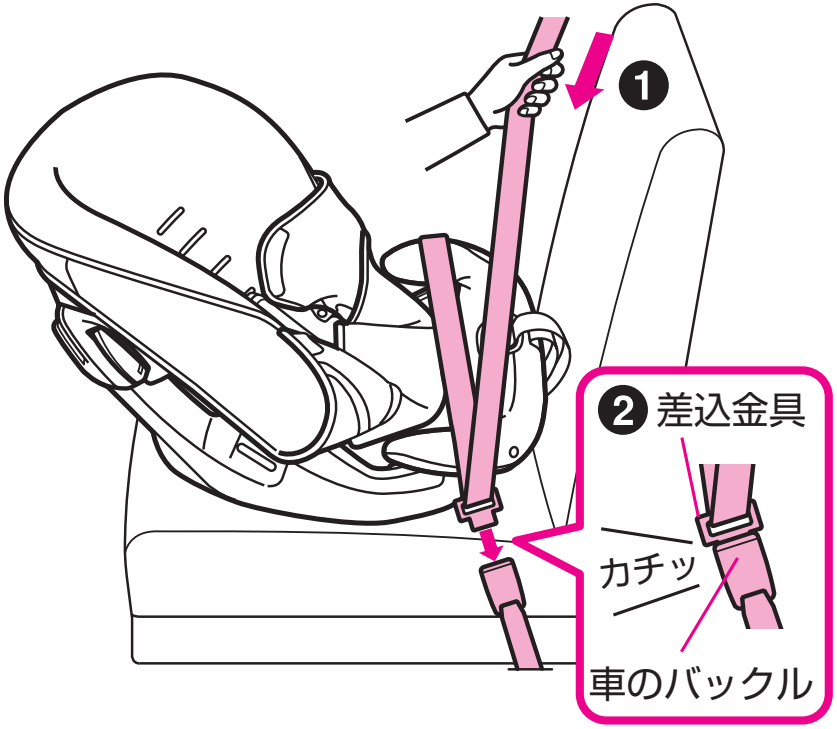
ワンポイント

●車両シートベルトの腰ベルトは、座面部カバーとベースカバーの間に通して取り付けます。

2 車両シートベルトを取り付ける。

❶ 車両シートベルトをねじらないようにゆっくりと引き出し、

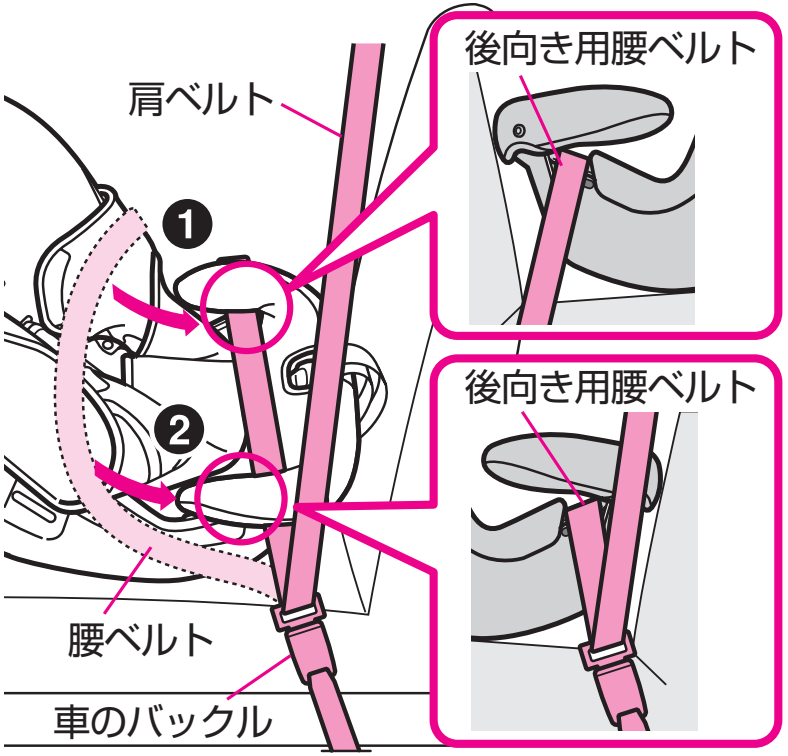
❷ 差込金具を車のバックルに差し込む。



3 腰ベルトを取り付ける。

❶ 車のバックルの反対側の後向き用腰ベルトガイド、

❷ 車のバックル側の後向き用腰ベルトガイドの順に、腰ベルトを通す。

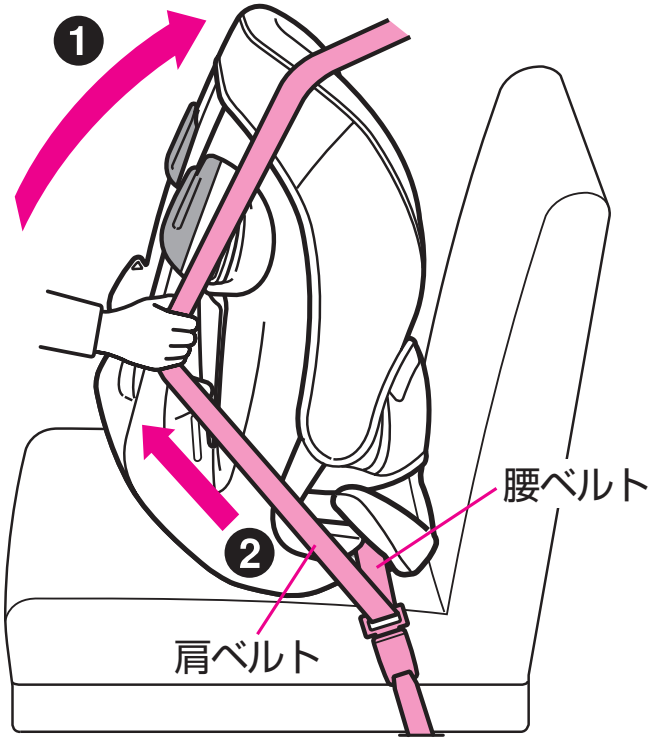


※腰ベルトを、左右の腰ベルトガイドの青色のマークにかかるように通してください。（青色のマークの位置は、5ページ参照）

後向き取り付け（体重 10kg 未満のお子さま）

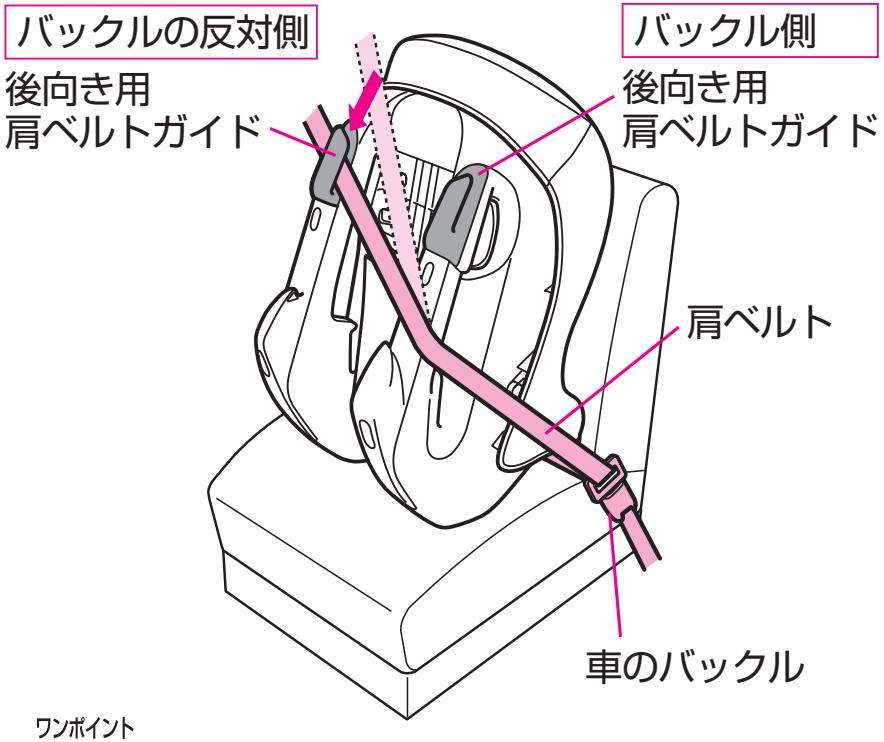
4 腰ベルトのゆるみをとる。

❶ 本体を矢印の方向へ起こし、
❷ 肩ベルトを手前に引き、
腰ベルトのゆるみをとる。



5 肩ベルトを取り付ける。

肩ベルトを強く引いたまま、
車のバックルの反対側の青色の後向き用
肩ベルトガイドにはさみ込む。

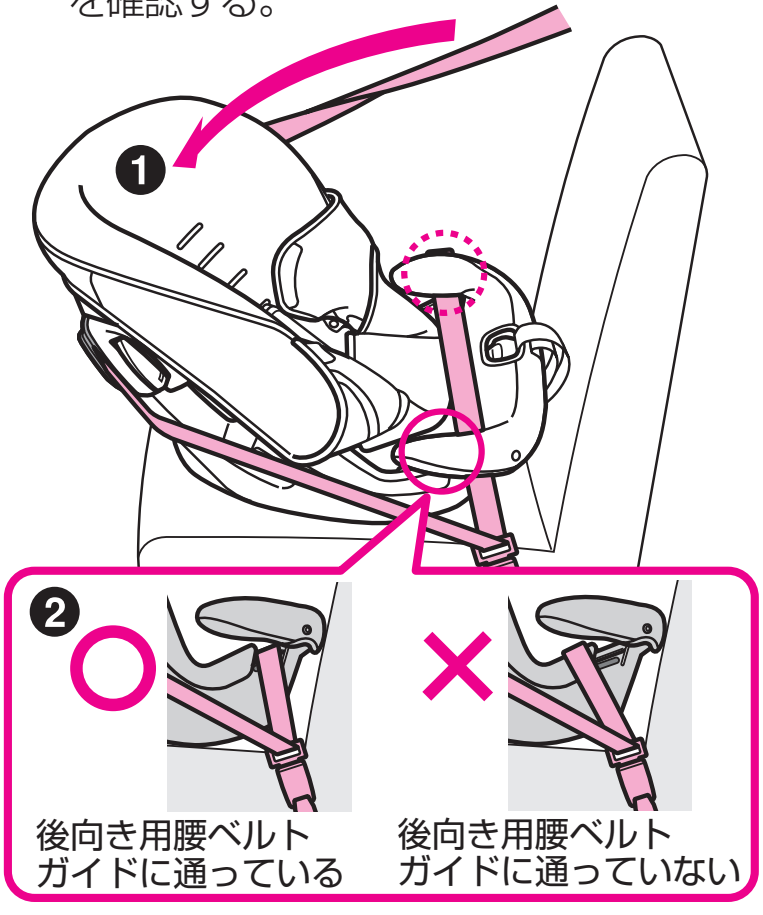


ワンポイント

- 車のバックル側の後向き用肩ベルトガイドは使用しません。
- 車のバックルの反対側の後向き用肩ベルトガイドだけを使用します。

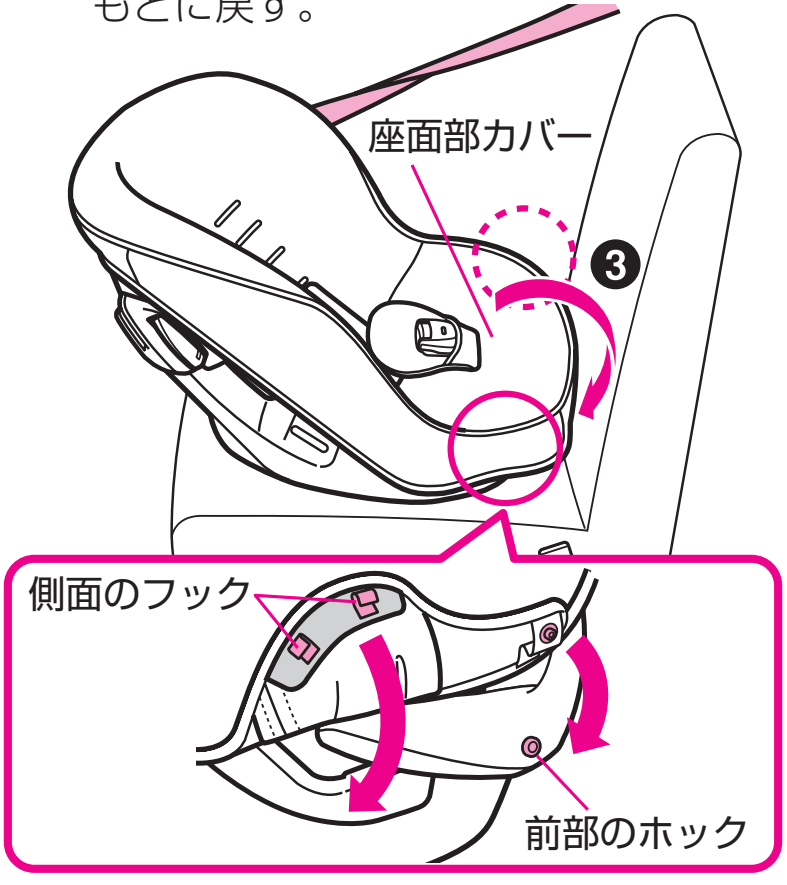
6 腰ベルトを確認する。

❶ 本体を矢印の方向に倒したら、
❷ 腰ベルトが左右の後向き用腰ベルトガイド（P３４参照）に通っていることを確認する。



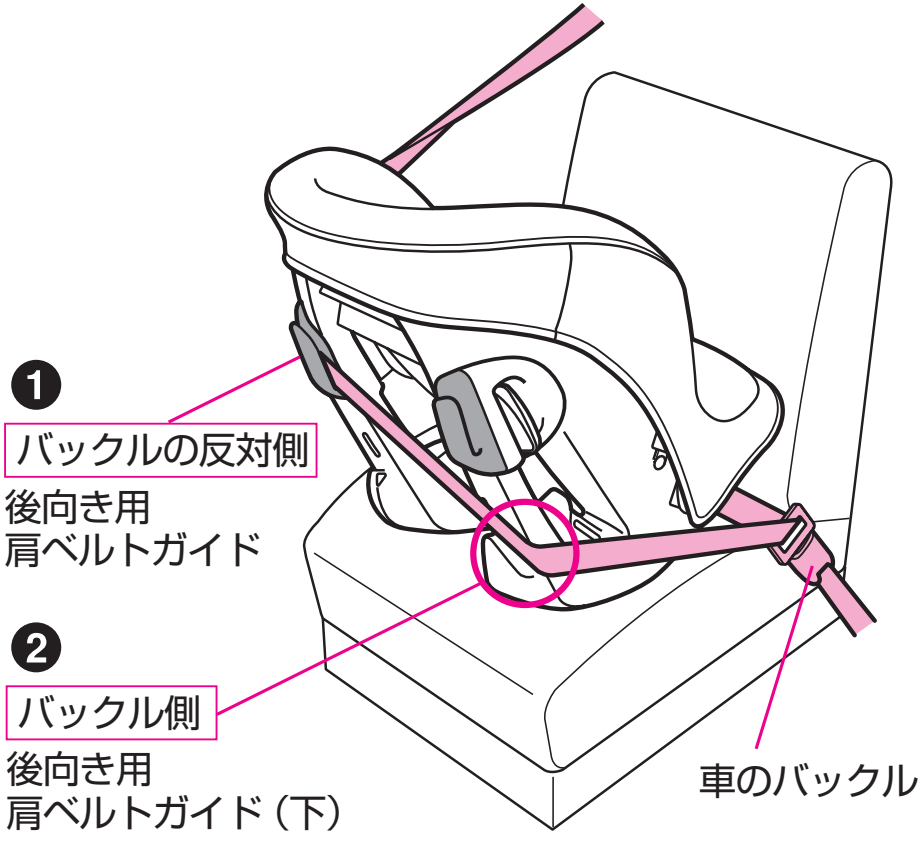
腰ベルトの確認が終わったら、

❸ シートカバー左右の前部のホックと側面のフックをとめ、座面部カバーをもとに戻す。



7 肩ベルトを確認する。

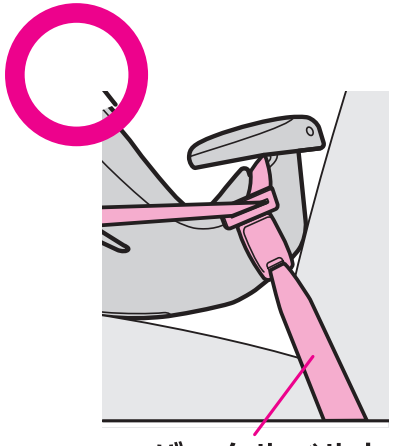
❶ 車のバックルの反対側の青色の後向き用肩ベルトガイドと、
❷ 車のバックル側の後向き用肩ベルトガイド（下）の青色のマークに、
肩ベルトがかかるように通っていることを確認する。
（青色のマークの位置は、６ページ参照）

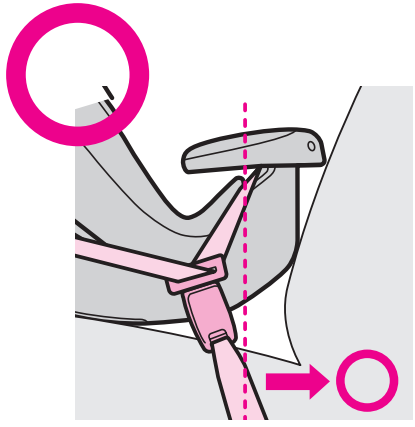


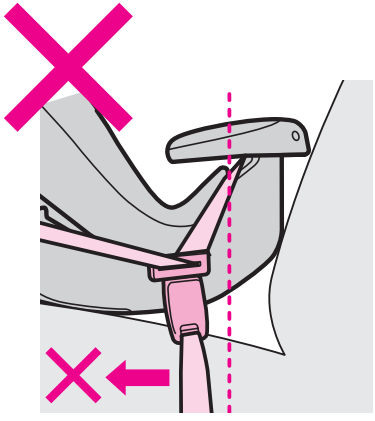
ワンポイント

●チャイルドシート固定機能がついている場合、車両シートベルトをすべて引き出すとロックし、取り付けができなくなる場合があります。
※車両シートベルトを引き出しすぎないでください。
●車両シートベルトがロックし、取り付けができない場合は、３３ページ手順１から作業をやり直してください。

⚠警告







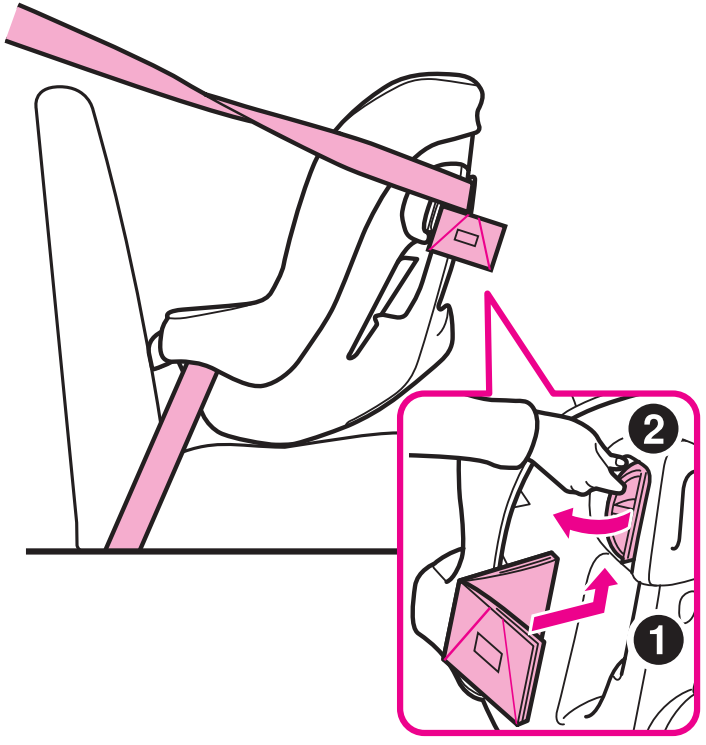
●車のバックルが後向き用腰ベルトガイドにあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。
バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。

●バックルベルトの根元が、後向き用腰ベルトガイドより前から出ている座席では、取り付けが不安定になる場合があります。
※取り付ける車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。

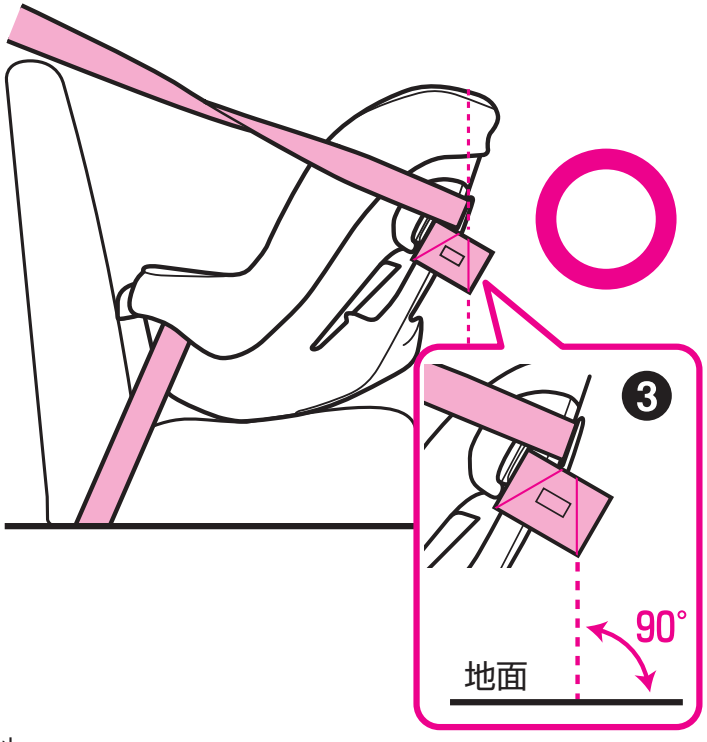
ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

8 チャイルドシートの取り付け角度を調節する。

❶ 取扱説明書を真中のページで開き、
❷ 図のように赤色のロック機構にはさむ。



❸ 裏表紙の角度チェッカーの赤いラインが垂直（地面に対して９０°）になるように、背面の角度を調節する。



ワンポイント

●後向き使用時は、車の室内側からお子さまを乗せ降ろしすると、車両シートベルトがじゃまになりません。

後向き取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

① 車両シートベルトの差込金具が車のバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと

② お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッションが取り付けてあること

③ 腰ベルトが左右の後向き用腰ベルトガイドに通っていること

④ 肩ベルトが車のバックルの反対側の後向き用肩ベルトガイドに通っていること

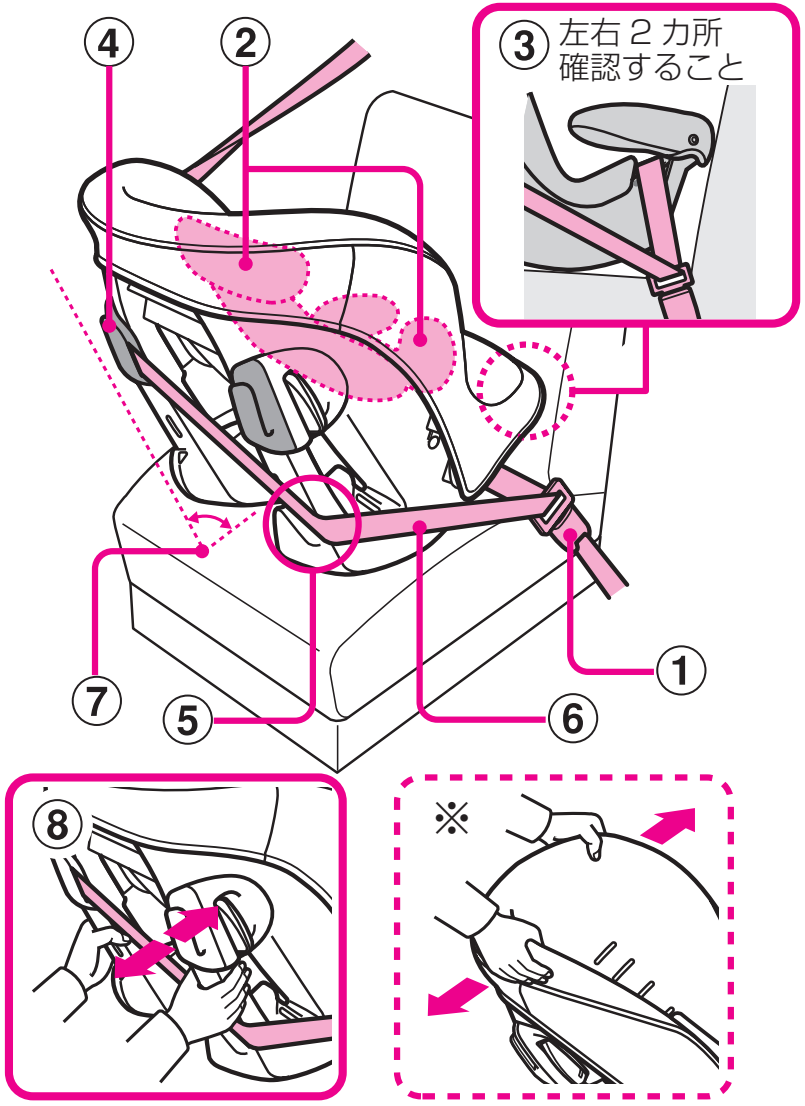
⑤ 肩ベルトが車のバックル側の後向き用肩ベルトガイド(下)に通っていること

⑥ 車両シートベルトに、たるみがないこと

⑦ 角度チェッカーにより、適正な角度になっていること

⑧ 本体部分を持ち前後にゆすり、チャイルドシートが車の座席の背もたれから離れないこと。

※ チャイルドシートの構造上、本体が左右に動きますが、使用上問題はありません。



ワンポイント

●後向き取り付け時は、本体を動かし背面の角度が調節できるように、底面部が円弧形状になっています。

前向き取り付け（体重9kg～18kg未満のお子さま）

1 **車両シートベルトを取り付ける。**

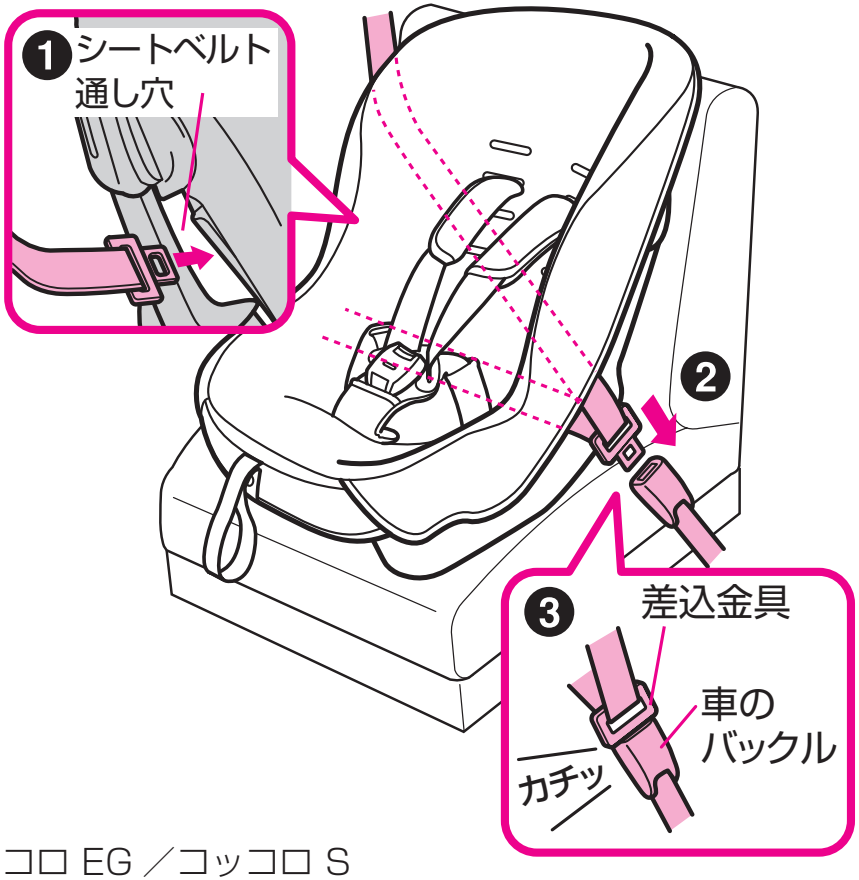
本体を車の座席に前向きに置き、車両シートベルトをねじらないようにゆっくりと引き出し、

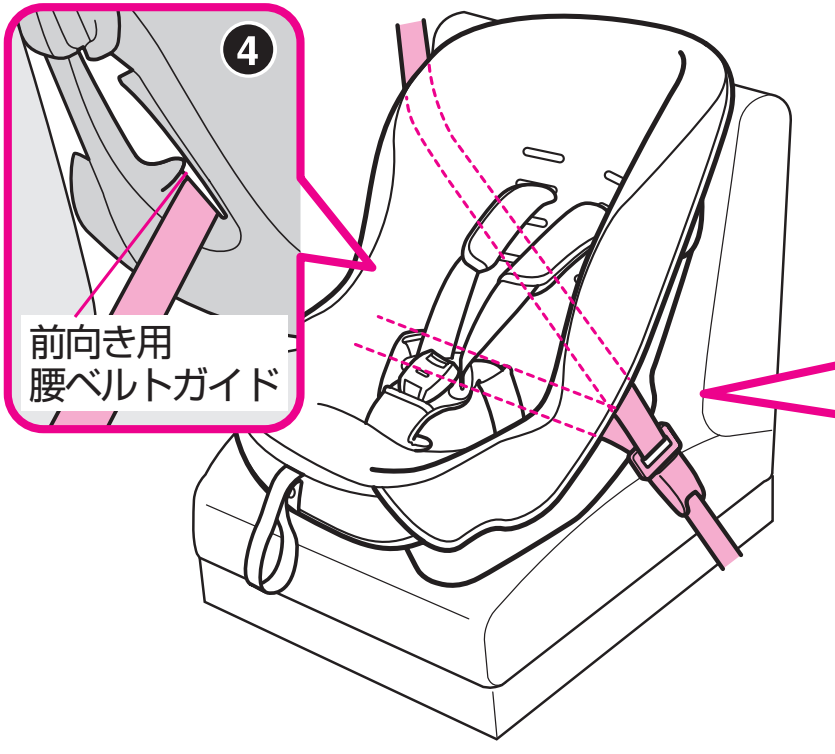
❶ シートベルト通し穴に通し、

❷ 反対側の通し穴から引き出し、

❸ 差込金具を車のバックルに差し込む。

❹ 腰ベルトが、左右の前向き用腰ベルトガイドの赤色のマークにかかるように通っていることを確認する。（赤色のマークの位置は、6ページ参照）

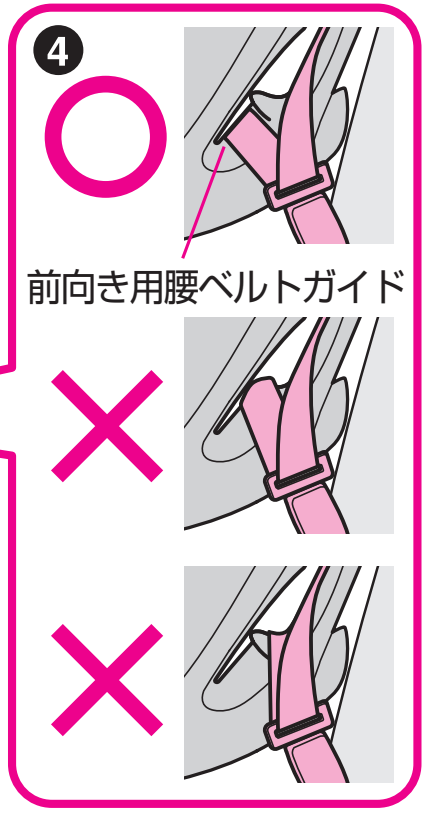


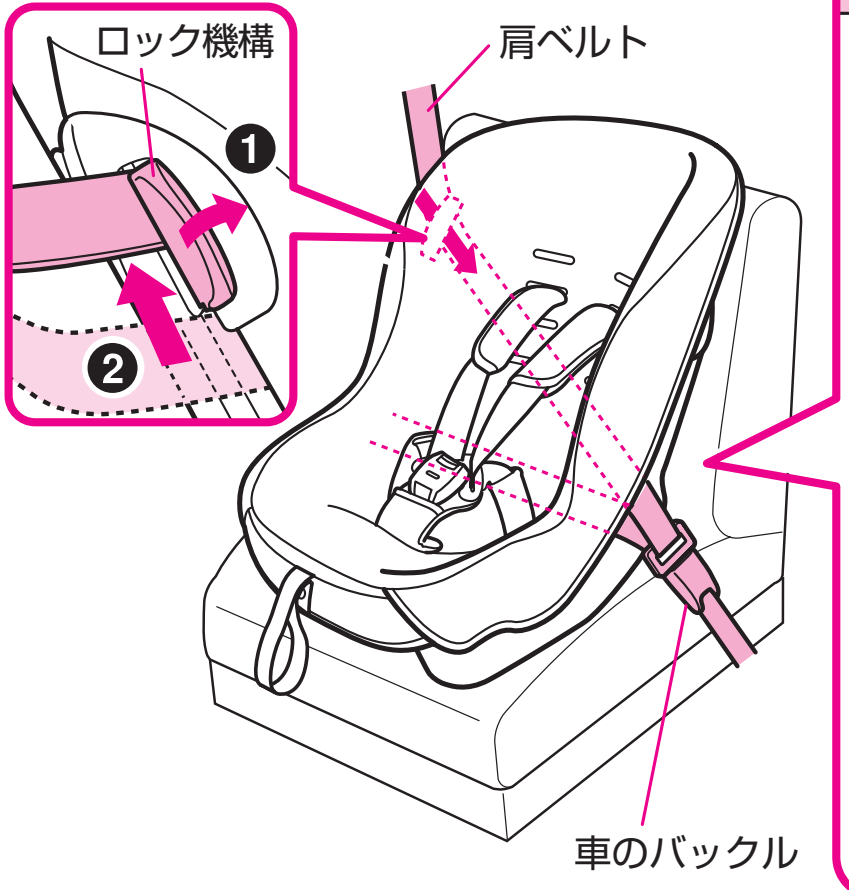


つづく

2 ロック機構に肩ベルトを取り付ける。

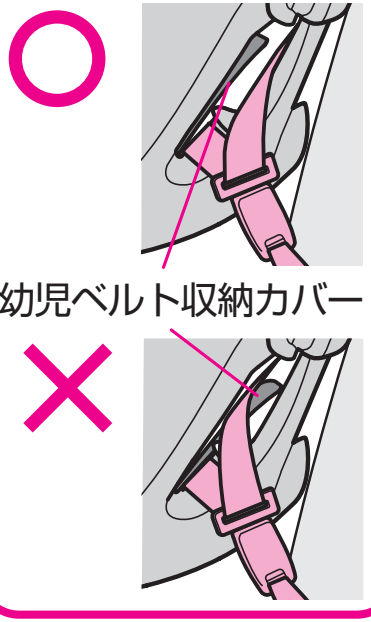
❶ 車のバックルの反対側の赤色のロック機構を開き、
❷ すき間の上まで肩ベルトをはさみ込む。





⚠注 意

● 肩ベルトが、幼児ベルト収納カバーの外側を通っていることを確認してください。内側を通っていると収納カバーが変形するおそれがあります。

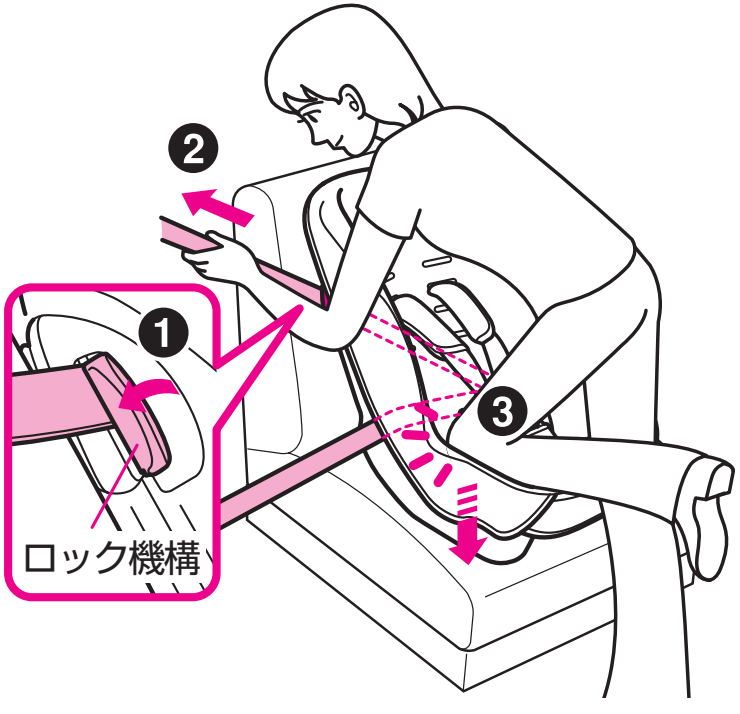


3 チャイルドシートをしっかりと固定する。

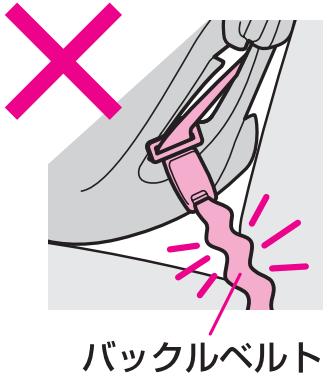
❶ 座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車の座席に本体を沈み込ませながら、

❷ ロック機構部分の肩ベルトを矢印の方向に強く引き、肩ベルトのゆるみをなくす。

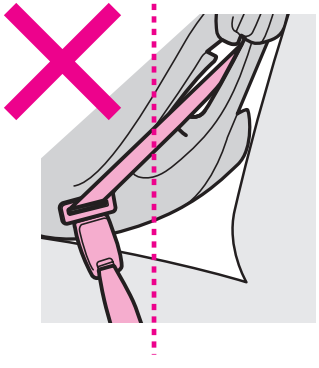
❸ 肩ベルトが引き込まれないように、ロック機構を押し込み閉める。



⚠警告



●車のバックルが前向き用腰ベルトガイドにあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。



●バックルベルトの根元が、前向き用腰ベルトガイドより前から出ている座席では、取り付けが不安定になることがあります。

※取り付ける車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。

ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

前向き取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

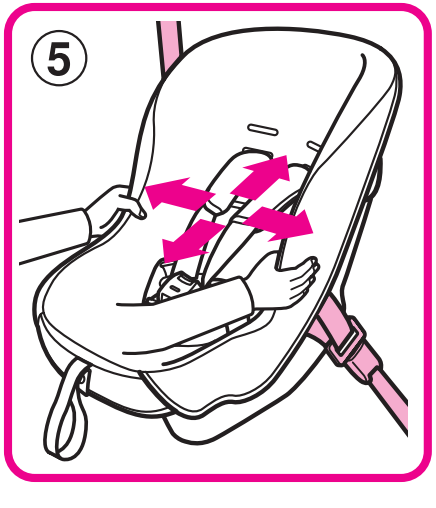
①車両シートベルトの差込金具がバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと

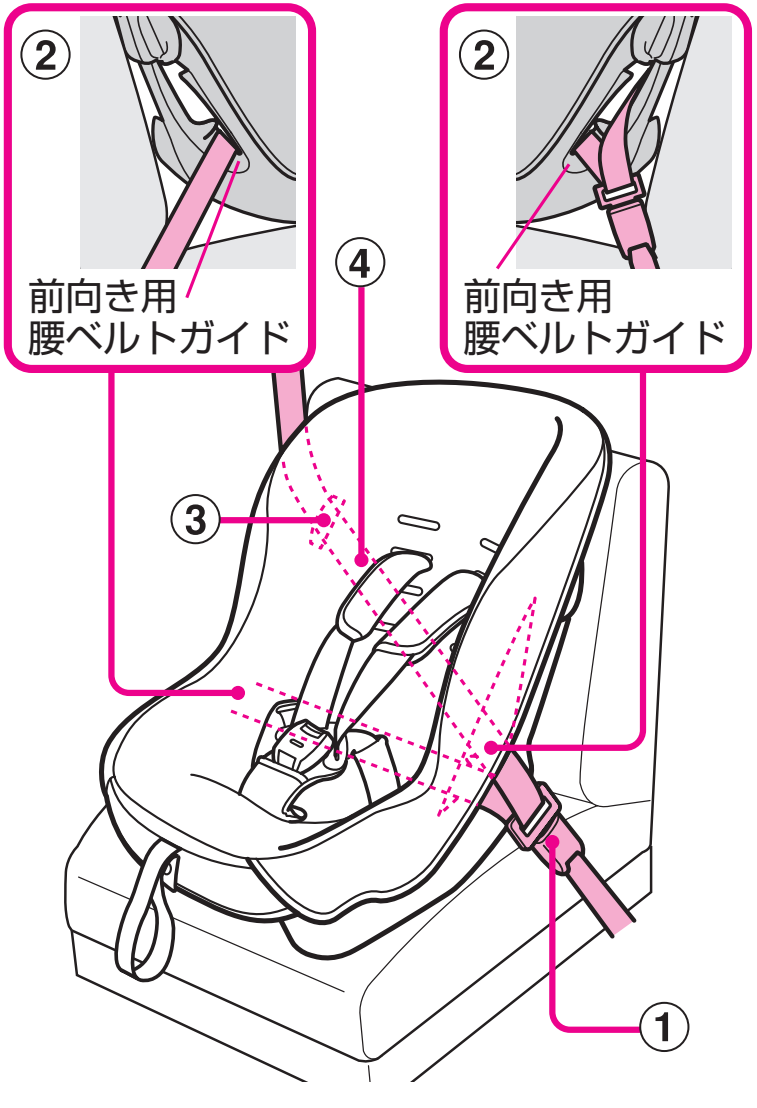
②腰ベルトが左右の前向き用腰ベルトガイドに通っていること

③肩ベルトが車のバックルと反対側のロック機構に通っていること

④車両シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと

⑤側面部分を持ち前後左右にゆすり、３センチ以上動かないことを確認する





シートカバーのはずしかた・取り付けかた

シートカバーのはずしかた

❶ 本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずし、

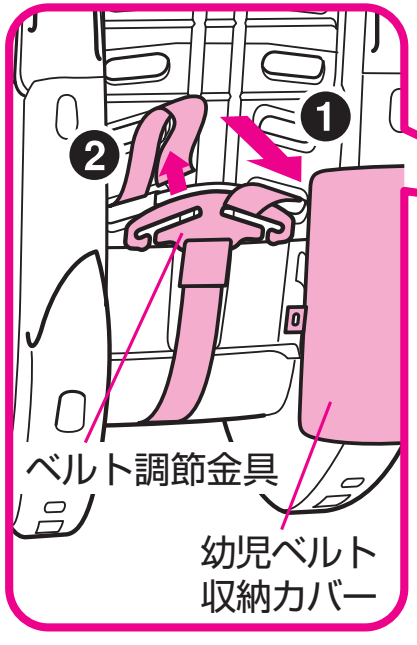
❷ 左右の幼児ベルトを、ベルト調節金具からはずす。

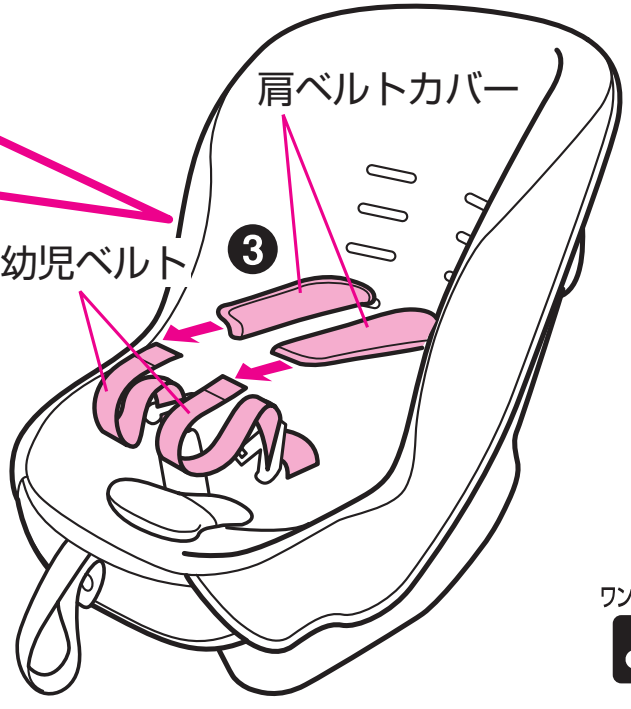
❸ 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。

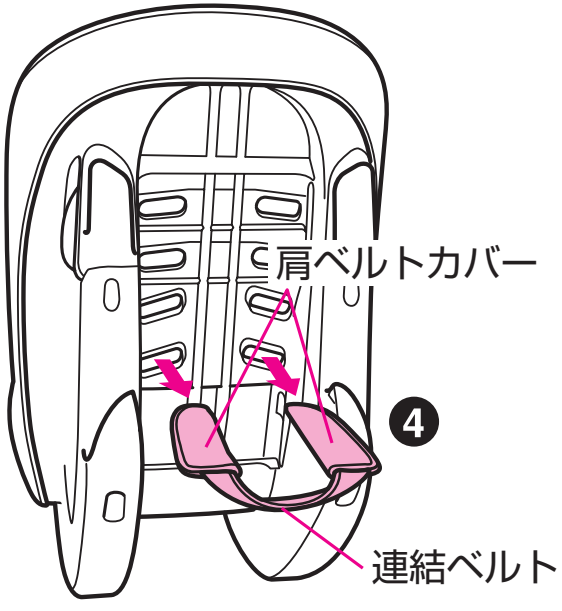
※ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

❹ 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。

※ 左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面で繋がっています。

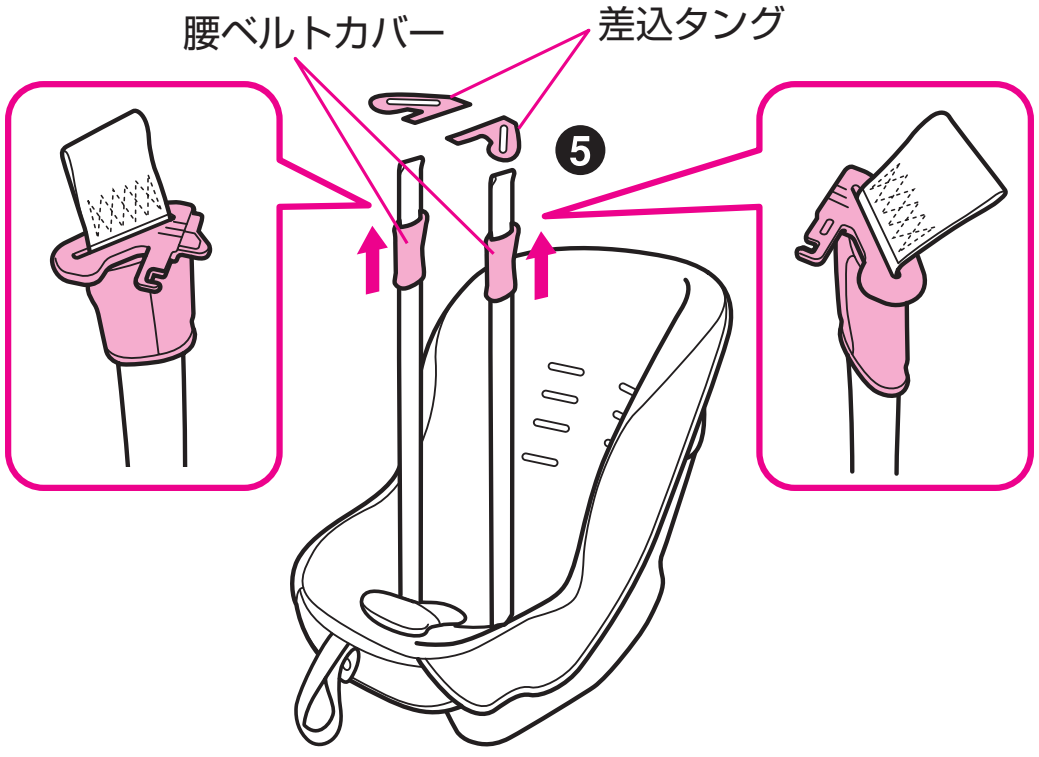






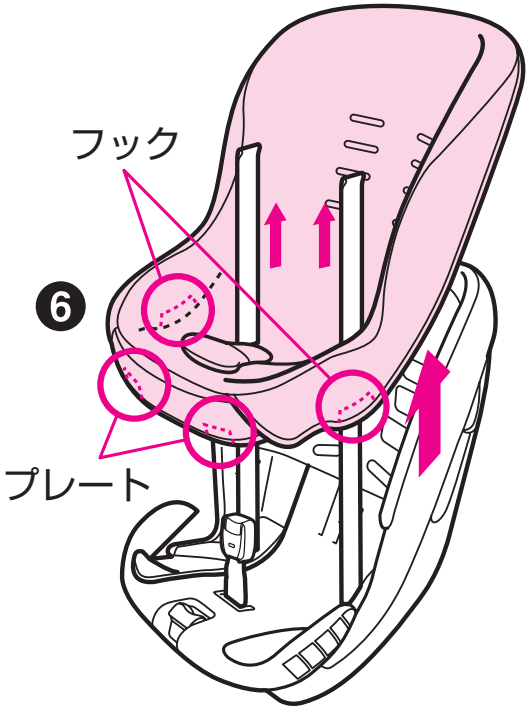
ワンポイント ●本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの先端を押し込みながら、本体背面より引き抜きます。

❺ 差込タング、腰ベルトカバー(EGのみ)を幼児ベルトからはずす。



※差込タングを取り付けるときは、左右表裏に注意してください。

❻ 左右側面2ヵ所のフックと、シート前部2ヵ所のプレートをはずし、シートカバーをはずす。



シートカバーの取り付けかた

洗いかた

シートカバー、肩ベルトカバー、腰ベルトカバー(EG のみ)、インナークッションの洗いかた

●洗濯時は次のことを守ってください。

手洗い 30	液温は 30℃を限界とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
ドラ	ドライクリーニングはしないでください。
ヨ ワ ク	強く絞ると、シワが残ることがあります。
平	日陰で平干してください。

●インナークッションを洗濯するときは、中に入っているウレタンを取りはずしてください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

※洗濯後、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常はかたく絞った布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。

警告

●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本　体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

本書は、よくお読みのうえ、取説収納ポケットに保管してください。（5 ページ参照）

ウレタンについて

シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。

廃棄のしかた

●お住まいの各自治体の規程にしたがい処分、廃棄してください。

●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

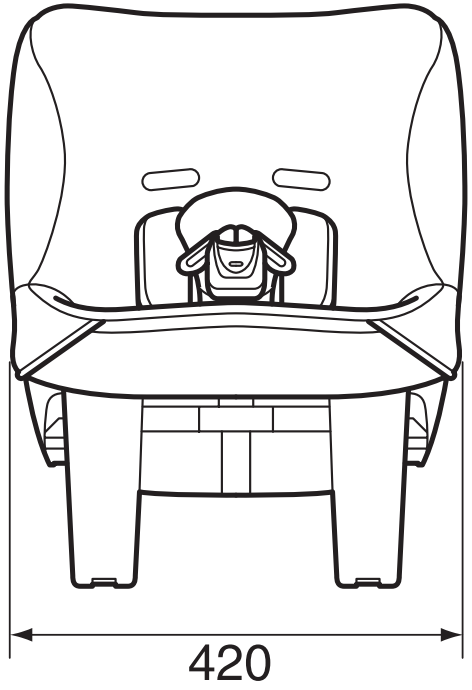
製品を正しく安全にお使いいただくために

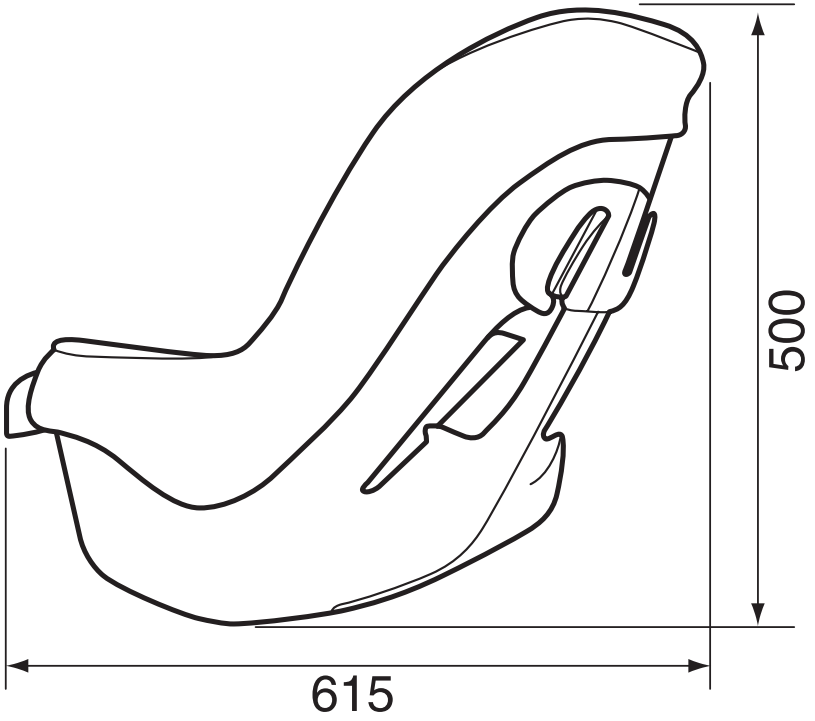
製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。
下記のホームページをご覧ください。

http://www.combi.co.jp/safetyinfo/index.html

製品仕様

■製品サイズ：(W)420 × (D)615 × (H)500





■**製品質量**：本体……4.6kg(EG)
4.4kg(S)

■**材質**：本体… ポリプロピレン、ポリスチレン、ウレタン
シートカバー
表生地…ポリエステル
クッション材…ウレタン

品質保証書
コンビ　チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

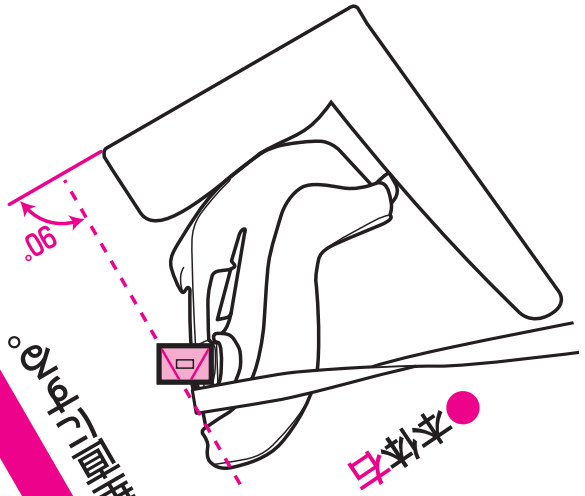
製品名　　ロットNo. （本体背面のシールをご覧ください）		保証期間 お買い上げ日より1年間 （ただし保証規定による）
お客様	お名前	お買い上げ日 年　　月　　日
お客様	ご住所　〒　　TEL	
販売店	店　名　　TEL 住　所	

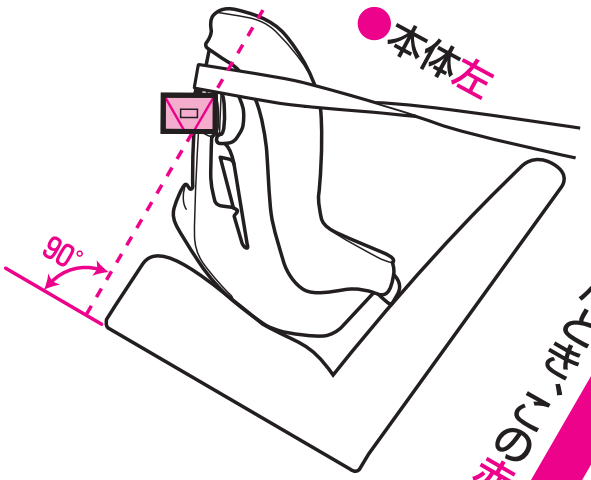
修理メモ

保証規定

1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
   (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
   (b) シートカバーなど、縫製部品の傷や破れ。
   (c)お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
   (d)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
   (e)本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (f) 本書のご提示がない場合。
   (g)一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 領収書（レシート）を本書と一緒に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。





●本体を左から見たとき、この赤いライン を垂直にする。

●本体を右から見たとき、この赤いライン を垂直にする。

後向きでご使用の場合、角度チェッカーの赤いラインが垂直（地面に対して90°）になるようにチャイルドシートの背面の角度を調節してください。
（39ページ参照）

角度チェッカー

チャイルドシートを後向きで取り付けるときの目安としてお使いください。

web上にコンビの育児サイトを開設しています

コンビの製品&育児情報サイト・コンビタウン
http://www.combibaby.com

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ
（Customer Service Center）
受付時間:10:00～17:00（日祝日、年末年始を除く）
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ
（Customer Service Center）／西日本担当
受付時間:10:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.(06)6942-0379　FAX.(06)6942-0302

＊ホームページでのご案内
http://www.combi.co.jp/cp/

125156090　13.1